

視察・調査活動 実施計画書 政務活動費 《事前》審査書		整理番号	0413001-1			
		会派名	富山市議会自由民主党			
		議員名	横野 昭			
<input checked="" type="checkbox"/>	調査研究費	会派承認欄				
<input type="checkbox"/>	研修費	起案日	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
<input type="checkbox"/>	広報広聴費	R4.4.18	  	  		
<input type="checkbox"/>	要請・陳情活動費	承認日				
<input type="checkbox"/>	会議費	R4.4.20				
<input type="checkbox"/>	資料作成費	特記事項				
<input type="checkbox"/>	資料購入費	高田重信 0416001 横野 昭 0413001 豊岡達郎 0405002 ✓				
<input type="checkbox"/>	人件費	織田伸一 0402001 ✓				
<input type="checkbox"/>	事務費					
項目	内容				留意点	
1	実施者	織田伸一、豊岡達郎、横野昭、高田重信 (以上4名)				
2	実施日程	令和4年4月25日(月)~26日(火) 1泊2日				
3	行程	富山駅=大宮駅=福島駅=福島ロボットテストフィールド(13:10~14:00) =水素エネルギー研究フィールド(14:20~15:20)=原子力災害伝承館(15:30~16:30) =ホテル 14:30 15:30 15:45 16:05 ホテル=水産海洋研究センター(9:30~11:00)=郡山駅=大宮駅=富山駅				政務活動のための合理的な経路か。政務活動以外の行程が含まれていないか。宿泊が必要か。
4	視察1	視察・調査先	南相馬市			目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先 面談予定者	福島ロボットテストフィールド(南相馬市原町区萱浜字新赤沼83 0244-25-2473) 担当 未定			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】ロボットの最先端技術等を学ぶ 【目的】社会にとって必要なロボット開発の現状と展望を学び反映させていく			
	視察2	視察・調査先	浪江町			
		視察・調査先 面談予定者	水素エネルギー研究フィールド(浪江町大字棚塩) 担当 未定			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】水素エネルギー導入拡大を見据えたシステム等を学ぶ 【目的】未来のエネルギーとしての水素の活用・運用システム等について学び反映させていく			
	視察3	視察・調査先	双葉郡双葉町			
		視察・調査先 面談予定者	原子力災害伝承館(双葉郡双葉町大字中野字高田39 0240-23-4402) 担当 未定			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】復興への途を歩んできた福島の実状を学ぶ 【目的】防災・減災の教訓を学び、災害対応について反映させていく			
	視察4	視察・調査先	いわき市			
		視察・調査先 面談予定者	水産海洋研究センター(いわき市小名浜下神白字松下13-2 0246-54-3151) 担当 未定			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】原子力発電所事故により被害を受けた漁業の復興等について学ぶ 【目的】災害の発生により水産物資源の管理や加工処理技術について学び反映させていく			
5	実施経費 及び 政務活動費の 支出予定額 (振込手数料含まない)	交通費	37,430円			対象費用及び単価見積りが適切か。政務活動費充当方法は適切か。按分率適用の分母は適切か。(混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
		日当	3,000円/日×2日			
		宿泊費	8,300円			
		その他	18,200円(レンタカー代)			
		合計額	69,930円			
		按分率(充当率)	100%・50%			
		支出額(合計額×按分率)	69,930円			
6	取引規定	■抵触なし				取引制限の確認

2022年4月18日

視察に関する願書

富山市議会自由民主党 横野 昭

福島イノベーションコースト構想の取り組みを視察するにあたり、福島駅から最初の視察先である福島ロボットテストフィールドには、公共交通では、2時間30分以上要することと、第2の福島エネルギー研究フィールドまでは、15 km、第3の原子力災害伝承館までは、7 kmと距離があり、この間は公共交通がないことから、レンタカーによる移動が効率よく、総合的な通行時間は2時間程度で目的地に遅滞なく訪問することが可能である。

翌日のいわき市水産海洋研究センターの移動についても、レンタカーを利用することが効率的であり、レンタカーの借り上げ利用料金も2日間の利用で、18200円である。

タクシーの借り上げには、1日3万円以上がかかると予想され、レンタカー利用が合理的であると考えます。

以上のことにより、レンタカーの借り上げによる視察をお願いします。

富山市議会自由民主党 会長 金厚有豊様

富山市議会自由民主党 視察日程表

№0413001

日程：令和4年4月25日（月）～ 26日（火）

<p>4/25 (月)</p>	<div style="text-align: center;"> <p>JR JR</p> <p>かがやき502号 やまびこ183号 レンタカー レンタカー レンタカー</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">富山駅</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大宮駅</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">福島駅</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">福島ロボット テスト フィールド</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">福島水素エ ネルギー研 究フィール ド</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">7:20 発</div> <div style="text-align: center;">9:07 着</div> <div style="text-align: center;">9:21 発</div> <div style="text-align: center;">10:42 着</div> <div style="text-align: center;">13:10 ~ 14:00 視察</div> <div style="text-align: center;">14:30 ~ 15:30 視察</div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">レンタカー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">東日本大震 災・原子力 災害伝承館</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">いわき市 宿泊ホテル</div> </div> <p style="text-align: center;">15:45 ~ 16:45 視察</p> <p>【視察事項】 福島イノベーションコースト構想の取組について ・福島ロボットテストフィールド ①福島イノベーションコースト構想について ②基本理念・事業内容について ③運営形態並びに経費（予算額）について ④これまでの実績（成果）並びに今後の事業展開について</p> <p>・福島水素エネルギー研究フィールド ①基本理念・事業内容について ②運営形態並びに経費（予算額）について ③これまでの実績（成果）並びに今後の事業展開について</p> <p>・東日本大震災・原子力災害伝承館 ①基本理念・事業内容について ②運営形態並びに経費（予算額）について ③これまでの実績（成果）並びに今後の事業展開について</p> </div>
	<p>4/26 (火)</p>

視察・調査活動 実績報告書 政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票			整理番号	0413001-2		
			会派名	富山市議会自由民主党		
			議員名	横野 昭		
<input checked="" type="checkbox"/>	調査研究費	起案日	会派承認欄			
<input type="checkbox"/>	研修費	R4.5.13	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
<input type="checkbox"/>	広報広聴費	承認日				
<input type="checkbox"/>	要請・陳情活動費	R4.5.16				
<input type="checkbox"/>	会議費	支払件数	1	支払日(口座振込完了日)	R4.5.16	
<input type="checkbox"/>	資料作成費	起案日	支払完了報告			
<input type="checkbox"/>	資料購入費	R4.5.16	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
<input type="checkbox"/>	人件費	承認日				
<input type="checkbox"/>	事務費	R4.5.17				
特記事項						
高田重信 0416001 横野 昭 0413001 豊岡達郎 0405002 織田伸一 0402001						
項目	内容				留意点	
1	実施者	織田伸一、豊岡達郎、横野昭、高田重信 (以上4名)				
2	実施日程	令和4年4月25日(月)~26日(火) 1泊2日				
3	行程	富山駅=大宮駅=福島駅=福島ロボットテストフィールド(13:10~14:00) =水素エネルギー研究フィールド(14:30~15:30)=原子力災害伝承館(15:45~16:45) ホテル ホテル=水産海洋研究センター(9:30~11:00)=郡山駅=大宮駅=富山駅				政務活動のための合理的な経路か。政務活動以外の行程が含まれていないか。宿泊が必要か。
4	視察 1	視察・調査先	南相馬市			目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先面談予定者	福島ロボットテストフィールド(南相馬市原町区萱浜字新赤沼83 0244-25-2472) 担当			
	視察・調査の目的、内容	【内容】ロボットの最先端技術等を学ぶ 【目的】社会にとって必要なロボット開発の現状と展望を学び反映させていく				
4	視察 2	視察・調査先	浪江町			
		視察・調査先面談予定者	水素エネルギー研究フィールド(浪江町大字棚塩) 担当 赤井春菜、二本木俊介			
	視察・調査の目的、内容	【内容】水素エネルギー導入拡大を見据えたシステム等を学ぶ 【目的】未来のエネルギーとしての水素の活用・運用システム等について学び反映させていく				
4	視察 3	視察・調査先	双葉郡双葉町			
		視察・調査先面談予定者	原子力災害伝承館(双葉郡双葉町大字中野字高田39 0240-23-4402) 担当			
	視察・調査の目的、内容	【内容】復興への途を歩んできた福島の現状を学ぶ 【目的】防災・減災の教訓を学び、災害対応について反映させていく				
4	視察 4	視察・調査先	いわき市			
		視察・調査先面談予定者	水産海洋研究センター(いわき市小名浜下神白字松下13-2 0246-54-3151) 担当 水野拓治			
	視察・調査の目的、内容	【内容】原子力発電所事故により被害を受けた漁業の復興等について学ぶ 【目的】災害の発生により水産物資源の管理や加工処理技術について学び反映させていく				

項目	内容	留意点
<p>5 視察・調査活動の内容</p>	<p>視察1 「福島イノベーション・コースト構想」に基づき整備された、「福島ロボットテストフィールド」は、南相馬市復興工業団地内に、陸、海、空のフィールドロボットの一大開発実証拠点である。「無人機航空エリア」では、国内最大級となる飛行空域、滑走路を整備し、不時着、落下など多様な試験を実施できる環境を整え実用化を推進している。緩衝ネット付飛行場では、航空法の適用外となるため夜間や物件落下など特殊な飛行実証が行える。「インフラ点検・災害対応エリア」では、トンネル、橋梁、プラント、市街地、道路などの構造物を配置し、老朽化したインフラの状況や災害現場の再現できる国内唯一の試験場である。また、22室の研究室では、民間企業や東京大学、東北大学等との連携した研究にも取り組んでいる。この施設は、防災・減災に活かせるがもっと利用すべきと感じた。</p> <p>当日は、福島県の防災ヘリコプターによる災害訓練が行われ、研究棟から見学できました。</p> <p>視察2 「福島水素エネルギー研究フィールド」は、浪江町を実証エリアとして、1万kW級の水素製造装置を備えた水素エネルギーシステムを構築し、再生可能エネルギーの導入拡大を見据えた電力系統の需給バランス調整のための水素活用事業モデルおよび水素販売事業モデルを確立させることで、新たな付加価値を有する大規模水素エネルギーシステムの開発・実用化を目指している。</p> <p>敷地内に1万6千枚設置されている太陽光パネルから得られた再生可能エネルギーをベースに、1日の水素製造量で、約150世帯(1か月分)の電力を供給、または560台のFCVに水素を充填できる。</p> <p>浪江町は、水素というエネルギーで復興まちづくりを実現するため、水素利活用に全力で取り組み、R2年にゼロカーボンシティを宣言し、「なみえ水素タウン構想」を掲げ進めている。浪江町職員のこれからのエネルギー政策に力強さを感じました。</p> <p>視察3 東日本大震災・原子力災害「伝承館」は、双葉町で建設され、平穏な日常が複合災害によりどのように変わってしまったのか、県民の思いを、証言と資料を組み合わせ発信し、広域的・長期的な避難、あらゆる分野の風評など、原子力災害特有の事業を中心に伝える施設です。</p> <p>展示内容は、「プロローグ」からスタートし、①災害の始まり ②原子力発電所事故直後の対応 ③県民の想い ④長期化する原子力災害の影響 ⑤復興への挑戦 などの展示コーナーや語り部講話を通じて、震災の記録と記憶を教訓として防災・減災に役立てる施設として多くの方が訪れています。</p> <p>未曾有の複合災害について、何が起き、どう向き合ってきたかを伝え、防災・減災に向けた教訓を国内外や未来へつなげる素晴らしい施設であり、怖さも感じました。</p> <p>視察4 水産海洋研究センターは、いわき市の旧県水産試験場の敷地内に、「福島イノベーション・コースト構想」において、農林水産分野の拠点施設に位置付けられており、福島県産水産物の安全性の確保や風評払拭等のための情報発信に加え、地域の水産資源の管理や、付加価値の向上のための加工処理技術の開発などの役割を担う施設として、総工費約16億6000万円をかけて整備されている。</p> <p>この施設における研究の基本理念は、①(安全)放射性物質に対して安心して生産・消費できる安全な水産物の供給、②(資源)操業自粛により増加した資源の持続安全的かつ効率的利用、③(経営)漁家経営を向上させ、漁業の魅力ある産業化、④(情報)風評解消や水産業の復興・発展のための情報発信、⑤(環境)漁業が環境に充てる負荷を軽減し、環境と共生する漁業の実現 としている。また、3つの機能として、一つに、放射性物質への対応・水産物の安全性を確保する研究拠点、二つに、地域水産資源[磯根資源・浮魚資源等]の管理を支援する研究拠点、三つに、県内の水産試験研究の中核機関・福島・国際研究産業都市構想との連携を掲げて活動している。</p> <p>現在魚介類の放射性物質の県の検査では、毎週約100検体を検査し、国が定める基準値100Bq/kgを安定的に下回っていることを確認している。また、漁連の自主検査では、その日出荷するすべての魚種において、国より厳しい50Bq/kgを基準値とし実施している。これまでの安全安心への取組みにより、漁獲量は回復してきたが、それでも震災前の2割に留まっている。これを5割まで回復させることが現下の目標となっている。</p> <p>汚染水の海洋投棄も行われると聞いていますが、食に対する安全性などに関するこの研究センターとしての機能が活かされていると感じました。</p>	<p>目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等。</p> <p>政務活動のみの内容か。</p> <p>政務活動以外の政党活動、選挙活動、後援会活動等とみなされる表現、構成になっていないか。</p> <p>政務活動費を支出できる内容か。(全額、1/2、支出不可)</p>

項目	内容	留意点
<p>5</p> <p>市政への影響、 反映、成果等</p>	<p>視察1 視察においては屋根上に取り残された被災者のヘリコプターによる救助訓練も見学した。災害時の救助活動を行うヘリコプターは過酷な環境条件においても任務を遂行しなければならない、また、ドローンによる災害の状況確認に向けた取り組みや屋外で活躍するさまざまなフィールドロボットなど、市長の掲げるスマートシティの一環の中に取り組むべき必要性を感じました。 トンネル、橋梁、プラント、市街地、道路などの構造物を配置し、老朽化したインフラの状況や災害現場の再現できる試験場がある。また、屋外用ロボットの実用化段階の実証試験では、実際にロボットが働く空間での一定期間の繰り返し試験が求められるが、これらも同様に周辺地域の安全確保などから試験環境を準備することは容易でない。屋外で活躍するさまざまなフィールドロボットへの期待が高まる中、社会実装に向けた取り組みへの支援が必要である。この施設の成果など参考に本市でも情報をとりながら今後の防災減災に生かすべきである。</p> <p>視察2 本市の脱炭素社会の実現に向けた取組として、本市もオブザーバーとして参加している富山水素エネルギー促進協議会において水素ステーションが市内2か所に設置しているが、福島水素エネルギー研究フィールドの施設規模や構想を学び、改めて様々な企業や大学との連携し、実証実験を行っている。 本市においても、水素利活用の研究について、高い技術力や競争力、独自性を兼ねそろえた企業との協力体制や産学官連携を推進すべきである。</p> <p>視察3 この施設を視察して、改めて複合災害(地震・津波・原発事故)怖さを感じました。災害は、忘れたころにやってくるといわれますが、本市においても、地震、土砂崩れ、洪水、大雪などの自然災害に準ずる複合災害のリスクは常にあります。 諸外国からの侵略など、想像をはるかに超える災害までは考えにくいですが、様々な事態を想定し、市民の安心安全な生活を守るための、危機管理体制を考えることも必要である。 本市では、危機管理部が創設され、市民の安心安全に対する行政の取り組みなど業務内容に期待が高まっています。 防災減災対策を先送りすることなく取り組むことに期待します。</p> <p>視察4 この施設における放射能による被害や風評被害を聞いて、カドミ汚染で苦しんだ婦中町職員時代(1972年採用から復元事業が終わるまで)を思い出しました。地下水にカドミが含まれているとかカドミ米などと風評被害を受けた大変な時代を経験しました。 公害問題による人的な被害の対応、地域の活性化に向けての風評被害、農作物への被害など、多年にわたり影響がありました。いまだにその影響があります。 福島における複合災害による影響は放射能による人的な被害の対応、家屋等に対する被害、農作物や魚類に対する被害、地震による海洋被害など複数の影響があり、なかなか風評被害も収まらないと思います。 海産魚介類の安全性を含め、富山湾における豊富な漁場を守るための施策に、市としても最大限の取り組みに期待します。</p>	<p>目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等。</p> <p>政務活動のみの内容か。 政務活動以外の政党活動、選挙活動、後援会活動等とみなされる表現、構成になっていないか。</p> <p>政務活動費を支出できる内容か。 (全額、1/2、支出不可)</p>
<p>その他 及び 政務活動以外で</p>		

項目		内容			留意点	
実施経費 及び 政務活動費支出額	旅費・宿泊費	支出金額	63,930円	支出方法	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 (混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)	
		支出先	横野昭議員立替え 立替先:株式会社トマト旅行			
		支出内容及び積算根拠	JR代 19,600円(富山→福島) レンタカー借上げ 18,200円 17,830円(郡山→富山) 宿泊代 8,300円 別紙領収証のとおり			
	日当	支出金額	6,000円	支出方法		<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座(立替)
		支出先	横野昭議員			
		支出内容及び積算根拠	4月25日(月)から4月26日(火)2日分 3,000円/日×2日			
		支出金額		支出方法		<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座(立替)
		支出先				
		支出内容及び積算根拠				
		支出金額		支出方法		<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座(立替)
		支出先				
		支出内容及び積算根拠				
	支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座(立替)		
	支出先					
	支出内容及び積算根拠					
取引規定		<input checked="" type="checkbox"/> 抵触なし				
経費総額		69,930円	按分率(充当率)	<input type="text" value="100%"/> 50%		
按分率適用対象経費及び按分理由						
政務活動費支出(充当)額		69,930円				

貼付用紙

見積書・証拠書類等資料貼付欄
(A4版以上の大きさの書類は貼る必要がありません。B6版、A6版など、小さい用紙は貼ってください。)

領収証

富山市議会自由民主党 横吹昭様

No. _____

金額

¥ 63930.-



但 JRW 宿泊費

及年 々月 々日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等(%)

株式会社 トマール旅行

〒939-8261 富山市萩原250番地1

TEL (076) 428-1510

FAX (076) 428-15102

整理番号	0413001
------	---------

振替証明書

会派名 富山市議会自由民主党

金額	69,930	円
----	--------	---


上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和4年5月16日

経理責任者

金谷 幸則



氏名	横野 昭	受領印	
----	------	-----	---



0413001

4

年月日	摘要	お支払い金額(円)	お預かり金額(円)	差し引き残高(円)
1 04-05-02		*3,400	トマソンフン	*9,036,373
2 04-05-02	振込資金	*38,241	コピー カウント代	*8,998,132
3 04-05-02*		*3,380	普通預金 豊岡議員	*8,994,752
4 04-05-06		*91,343	シャ-フア付入	*8,903,409
5 04-05-06*		*48,490	普通預金 高道議員	*8,854,919
6 04-05-06*		*48,490	普通預金 金谷議員	*8,806,429
7 04-05-06*		*48,490	普通預金 松井議員	*8,757,939
8 04-05-09*	竹田議員代金	*300,000	4月, 6月分の2ヶ月分返還	*8,457,939
9 04-05-10*		*3,380	普通預金 高田真理議員	*8,454,559
10 04-05-10*		*48,490	普通預金 田辺議員	*8,406,069
11 04-05-10*		*48,490	普通預金 飯山議員	*8,357,579
12 04-05-10*		*51,730	普通預金 高田慶徳議員	*8,305,849

13 04-05-10*		*51,730	普通預金 織田議員	*8,254,119
14 04-05-10	振込資金	*2,062	インターネット代	*8,252,057
15 04-05-12*	23年度政務活動費	*2,553,207	産罷(不用客員分)	*5,698,850
16 04-05-13*		*3,400	普通預金 成田議員	*5,695,450
17 04-05-13*		*48,490	普通預金 成田議員	*5,646,960
18 04-05-16	電話料	*4,153	0764316101	*5,642,807
19 04-05-16*		*117,538	普通預金 成田議員	*5,525,269
20 04-05-16*		*69,930	普通預金 横野議員	*5,455,339
21 04-05-16*		*146,710	普通預金 金谷議員	*5,308,629
22				
23				
24				

(お知らせ)
 1. 滞りのご提出のあるお取引のときは年月日順に*と表示します。
 2. 振込額をお預り入れのときは、お支払い金額順に次のとおり表示します。
 クレジットカード
 トリカタ

お支払いできる日
 お支払できる時間は、所定の
 本支店営業時間となります。

4

富山県金運帳

店番号 口座番号

富山市議会自由民主党様



0413001



福島ロボットテストフィールド



福島ロボットテストフィールド

公益財団法人
福島イノベーション・コースト構想推進機構
〒975-0035 福島県南相馬市原町区堂浜字新浜83番
TEL:0244-25-2472
FAX:0244-25-2479
E-mail: [redacted]
URL: <https://www.tips.or.jp/robot/>



福島県ロボットテストフィールド
管理運営課

HP



福島県浪江町役場
産業振興課 新エネルギー推進係

あかい はるな

副主査 赤井 春菜

〒979-1592
福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL: 0240-23-5713 FAX: 0240-34-2135
Email: namie-0886@town.namie.lg.jp



福島県浪江町役場
産業振興課新エネルギー推進係

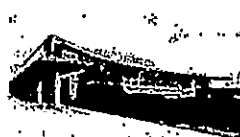
にほんぎ しゅんすけ
主査 二本木 俊介

〒979-1592
福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL: 0240-23-5713 FAX: 0240-34-2135
Email: namie-0872@town.namie.lg.jp

産業団地 H.P.



東日本大震災・
原子力災害
伝承館



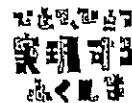
公益財団法人
福島イノベーション・コースト構想推進機構
〒979-1401
福島県双葉郡双葉町大字中野字高田 39
TEL 0240-23-4402 FAX 0240-23-4403
E-mail: [redacted]
URL: <https://www.tips.or.jp/>



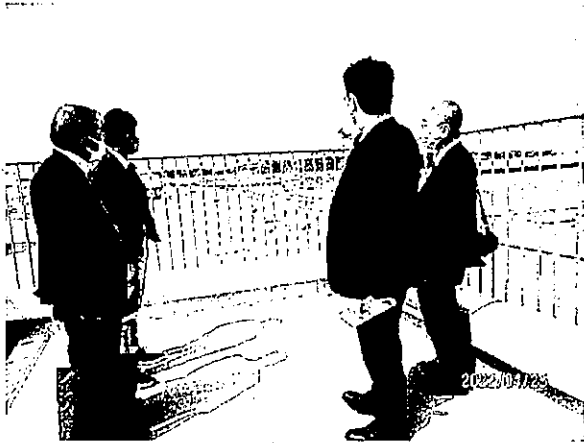
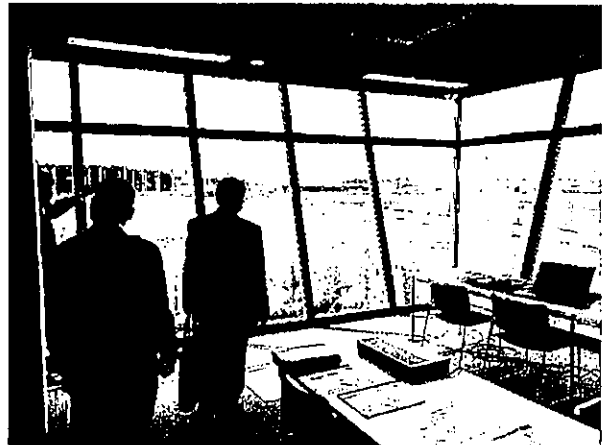
福島県水産海洋研究センター

所長

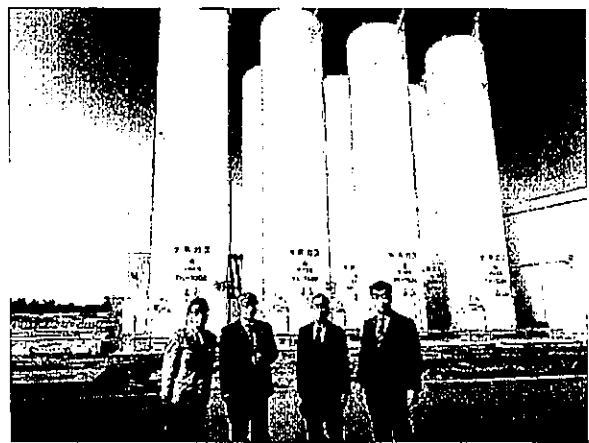
みずの たくじ
水野 拓治



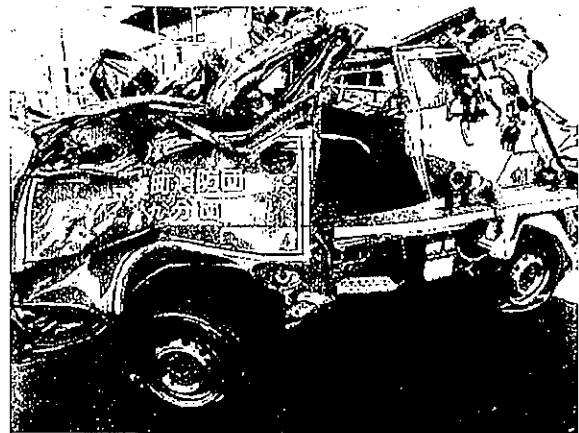
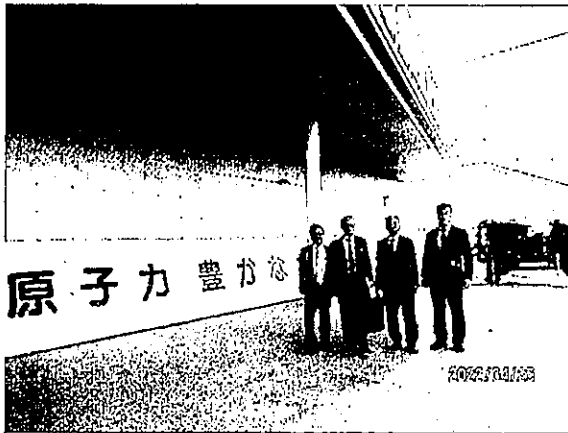
〒970-0316
福島県いわき市小名浜下神白字松下13番地の2
TEL: (0246) 54-3151 FAX: (0246) 54-9099
E-mail: mizuno_takuji_01@pref.fukushima.lg.jp
HP: <http://www.pref.fukushima.lg.jp>



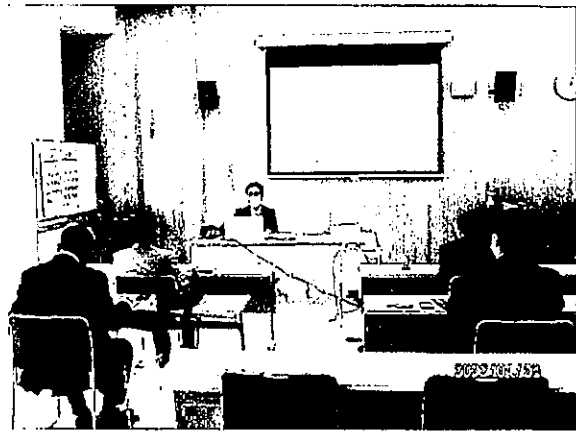
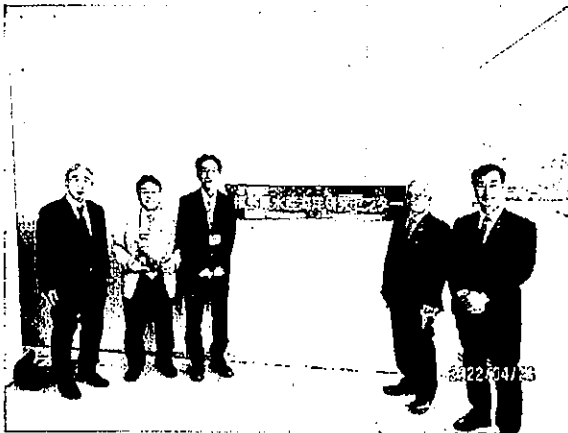
福島県南相馬市原町：福島ロボットテストフィールドにて先進的ロボットテストを視察



福島県双葉郡浪江町：水素ガスステーションにて先進的水素ガス製造装置を視察



福島県双葉郡双葉町：東日本大震災・原子力災害伝承館にて災害の伝承について視察



福島県いわき市小名浜：福島県水産海洋研究センターにて漁業の災害からの復興について学ぶ

№0413001

福島イノベーション・コースト構想

FUKUSHIMA ROBOT TEST FIELD

福島ロボットテストフィールド



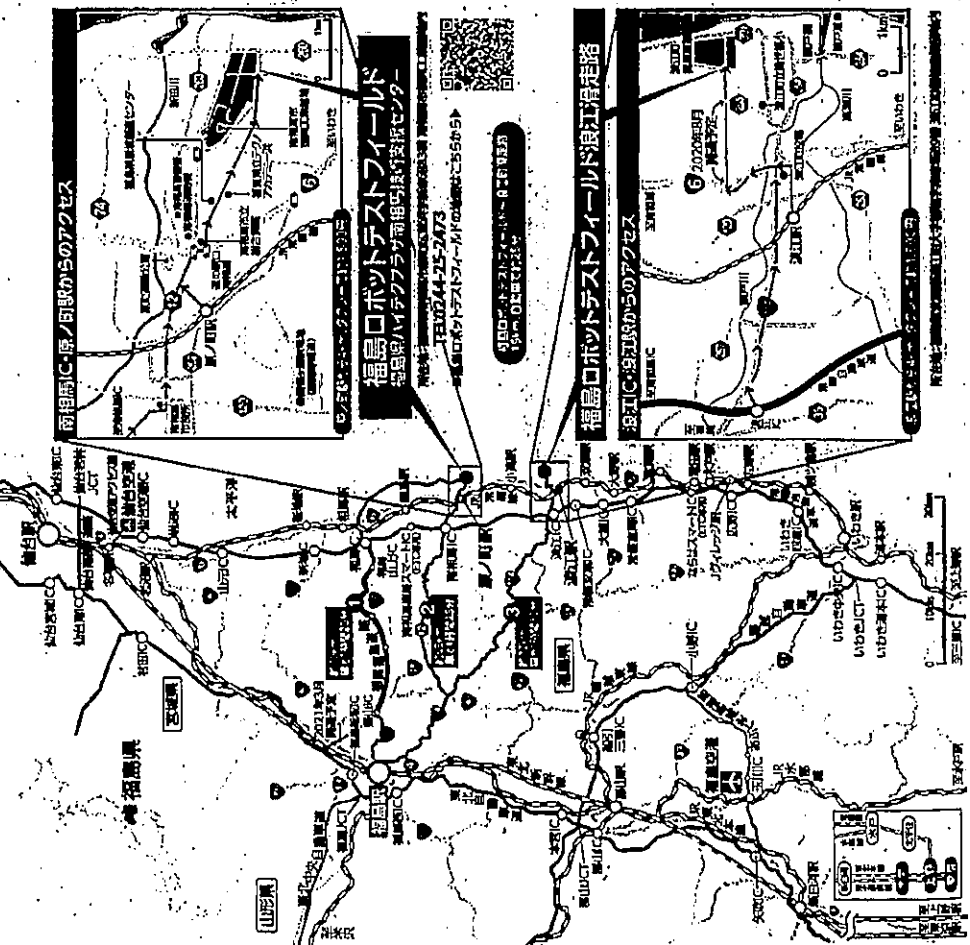
福島イノベーション・コースト構想
 東日本大震災及び原子力災害により失われた地域に産業の復興を促すために創出する「ロボットテストフィールド」です。
 工場、ロボット、エネルギー、農林水産等を重点分野とし、産業界や人材育成、交流人口の拡大等に努めています。
<https://www.fipo.or.jp/>

この構想に基づき整備された「福島ロボットテストフィールド」の一大特徴は、敷地面積が約1,000haの広大な敷地を有していることです。また、福島県内最大の工場用地として、大規模な工場用地の開発が期待されています。また、福島県内最大の工場用地として、大規模な工場用地の開発が期待されています。

ご利用の皆さまへ
 公益財団法人
福島イノベーション・コースト構想推進機構
 所在地 〒975-0036 福島県福島市南河原区新町3-3-35 南河原町工業団地内
 TEL 0244-25-2473
 E-mail: robot.info@fipo.or.jp
<https://www.fipo.or.jp/robot/> 福島県

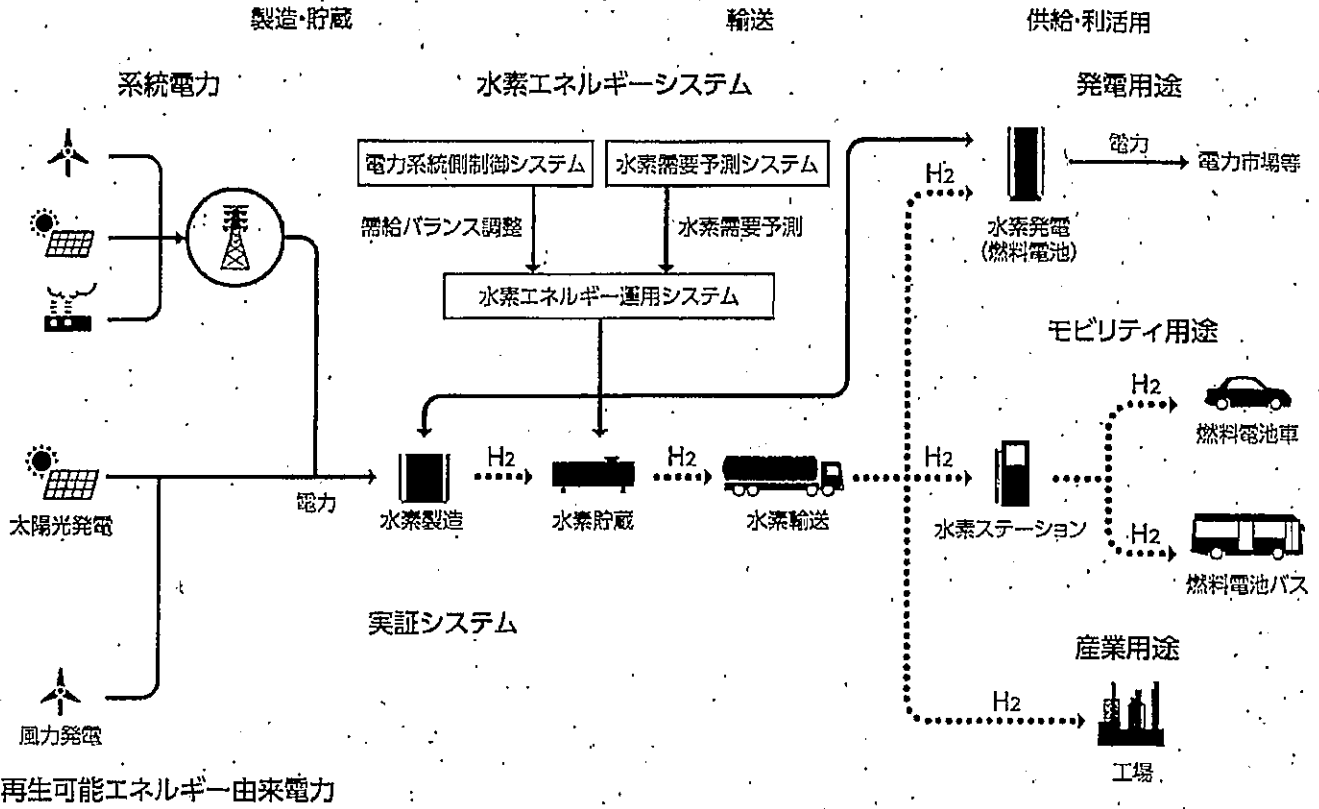
交通アクセス

東京からアクセス	福島からアクセス	仙台からアクセス	山形からアクセス
<p>三井IC 東北自動車道 約250km 約2.5時間</p> <p>東京駅 東北自動車道 約30分</p> <p>仙台駅 JR東日本 約1時間45分</p> <p>山形駅 JR東日本 約1時間20分</p>	<p>福島駅 JR東日本 約30分</p> <p>仙台駅 JR東日本 約1時間45分</p> <p>山形駅 JR東日本 約1時間20分</p>	<p>仙台駅 JR東日本 約30分</p> <p>山形駅 JR東日本 約1時間20分</p>	<p>山形駅 JR東日本 約1時間20分</p>



システム概要図

0413001



水素の性質と安全対策

	水素 H ₂	メタン CH ₄ * [※]	水素の性質	リスク比較
外観・臭い	無色・無臭	無色・無臭	検知し難い	リスク要因
ガス比重 (空気=1)	0.07	0.55	最も軽い気体で拡散しやすい	リスク軽減
拡散係数[cm ² /s](空気中)	0.61	0.16		
爆発範囲[vol.%]	4-75	5-15	燃焼可能濃度範囲が広い	リスク要因
最小着火エネルギー[mJ]	0.02	0.33	着火し易い	リスク要因

※都市ガス等の主成分



水素の性質を理解し、適切に管理することで、安全に利用することができます



漏らさない

法規に基き、適切な設計・施工を厳守し、水素の漏れを防ぎます。また、有資格者が保安管理を行います。



検知したら止める

検知器を設置し、水素を検知した場合には、機器単体とプラント全体の両面で、安全停止を即座に行います。



万が一漏れても溢めない

水素設備の設置エリアは水素が溜まらない構造にし、必要となる換気風量を確保します。



着火させない

導電性の高い床材を使用し、適切にアースを接地し、着火の原因になる静電気を溜めません。

本事業はNEDO※「水素社会構築技術開発事業/水素エネルギーシステム技術開発」の一環として実施しています。 ※ NEDO：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

関係組織：資源エネルギー庁、経済産業省、復興庁、内閣府、福島県、浪江町 / 事業実施者：東芝エネルギーシステムズ(株)、岩谷産業(株)、東北電力(株)

当たり前のように過ごしていた日常。本館の展示は、それが災害によって一変し奪い去られていくことを語りかけます。

—— 日常を見つめなおす ——
東日本大震災・原子力災害伝承館へぜひお越しください。

視合災害を考える、教訓を得る



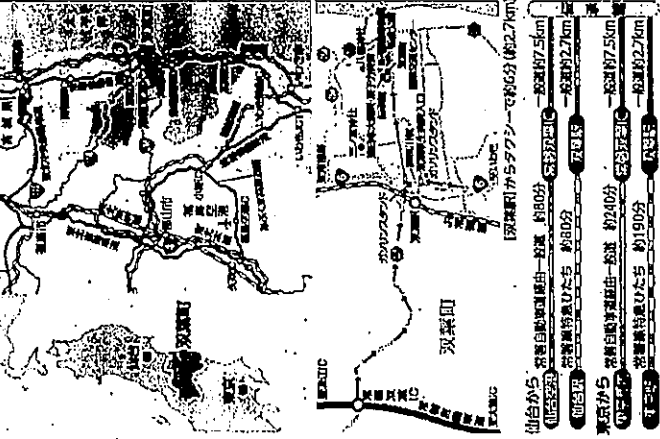
研修プログラム
来館団体のご予約に
応じ、語り部講話や
フィールドワーク等
様々な研修を提供し
ます。(オプショナル)

視合災害の声を聞く、共感する



語り部講話
震災・原子力災害を経験した地域住民
らの生の声を聴くことができます。毎
日4回(10:00、11:30、13:30、
15:00)各40分ほど質疑していま
す。団体向けの研修講話(オプショナル)
もあり、語り部個人の体験に加え、教
訓や復興に向けた取り組みと現状、未
来に向けた思いなどをお話してい
ます。

東日本大震災・原子力災害伝承館マップ



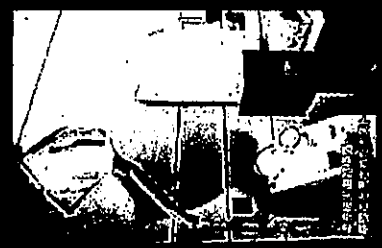
- 東日本大震災・原子力災害伝承館 利用案内**
福島県双葉郡双葉町大字中野字岡田39
- 受付時間 9:00～17:00 (最終入館16:30)
 - 休館日 火曜日・年末年始(12/29～1/3)
 - 料金 大人600円 小中高300円
大人団体(20名以上)480円 小中高団体(20名以上)240円
 - 駐車場 最大300名収容
※入館者は各車1台の駐車です。駐車料金は無料です。

お問い合わせ
公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
東日本大震災・原子力災害伝承館

〒974-0240 福島県双葉郡双葉町大字中野字岡田39
TEL 0240-23-4402 FAX 0240-23-4403
Eメール archive@fppa.or.jp
HP <https://www.fppa.or.jp/arc/>

あの日からの記録

福島県 Fukushima
東日本大震災・
原子力災害
伝承館
The Great East Japan
Earthquake and Nuclear Disaster
Memorial Museum



みらいへの教訓

未曾有の複合災害を経験し、復興への途を歩んできた福島。記録と記憶を防災・減災の教訓として未来へつないでゆく。

視合災害を知る、学ぶ

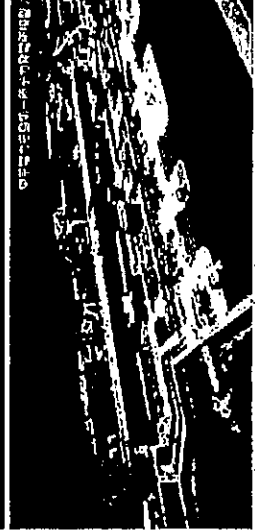


震災前から震災当時、現在を通じて、複合災害がもたらしたものと、その後の復興の強さを学ぶことができます。

形見世へ行く、体感する



津波や原子力災害で被災した様子を再現した施設や復興の状況を語り、学びたいツアーを行います。(オプショナル)



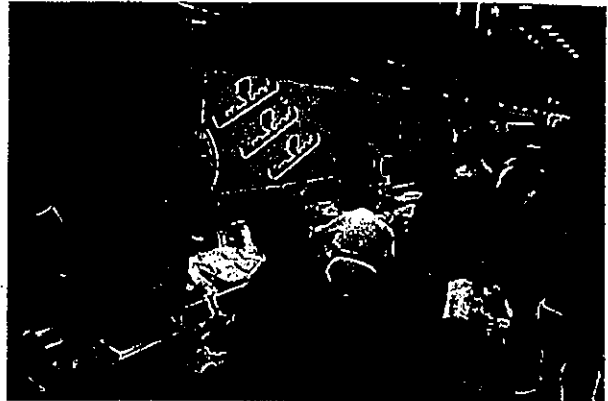
復興現場の様子



新築された建物

著作権法により
公開できません

福島県の水産物の安全・ 安心について



①県の取組

福島県水産海洋研究センター

研究本部

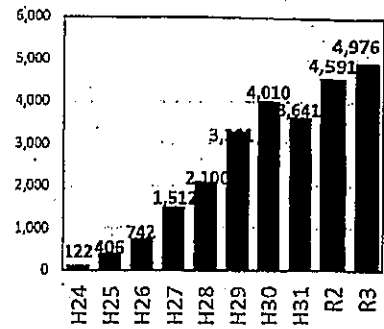
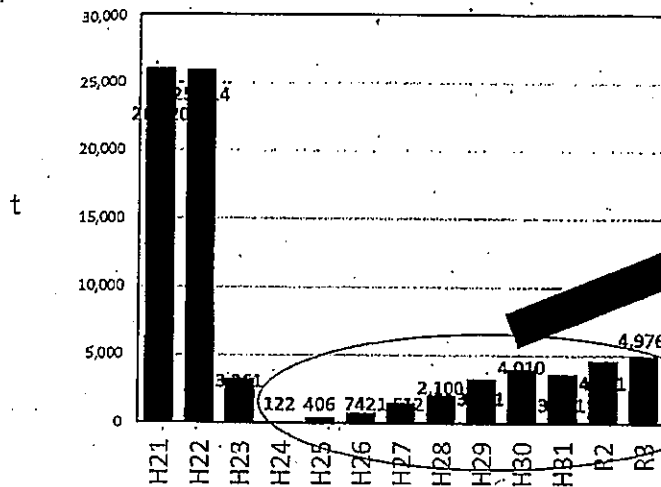
検査部

豊かな漁場

潮目の海

「常磐もの」
おいしい

沿岸漁業の漁獲量



沿岸漁業の漁獲量（属地）
（沖合底びき網漁業を含む）
※令和3年は速報値



令和3年の漁獲量は、震災前10年平均の約19%とまだ低い水準

まとめ

- 県モニタリング検査で、これまで約71,100検体（～R4.3）を検査し、安全を確認している。
- 原発事故から10年が経過し、海産魚介類の放射性セシウムは、99%以上が不検出となっている。
- 出荷に際しては、県漁連（漁協）が自主的なストーリーニング検査を実施し、更に安全を確認している。
- 通算44種の海産魚介類に出荷制限が指示されたが、現在指示されているのはクロソイ1種のみ。
- 福島県の漁業者は、漁獲量拡大に向け努力を続けている。

**福島県の実産魚介類は安全！
美味しく食べてください。**



(貸渡人)

0413001

オリックスレンタカー・カメイ株式会社
宮城県仙台市青葉区本町2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ6F

--	--

レンタル予定表番号
予約番号 A4779200 (3)

レンタル番号 (U) 46271518
レンタル番号 202204141888 (4)

レンタカー精算書兼領収書

(AGENT)

発行年月日 2022年04月26日

旅行会社	CD カナ	ZRY	ゼンリョ	999	
	ご名称	株式会社全旅 様			
	CD カナ	B3	ソノタマルゴトジカン		
借受人 (運転者)	主催	【時】本州四国まるごとドライブ (時間)			
	CD カナ	OR	ホシウシヨクマルゴトジカン		
	商品名	B3 本州四国まるごとドライブ (時間)			
	カナ	オダシンイチ			
	ご氏名	織田 伸一 様			
	ご住所				
	ご連絡先				
	生年月日				
	免許証情報	番号			
		条件			
種類	大型				
	中型				
取得日					
副運転者					
利用目的		利用人数	4	行き先	

レンタル料計算	出発時試算	帰着時精算
基本料金	*	*
基本料金割引▲	*	*
基本料金合計	*	*
免責補償加入料	込み	込み
安心パック	1,320	1,320
ワンウェイ利用料	4,400	4,400
配車引取料	0	0
ナビゲーション	0	0
その他	0	0
入会金	0	0
燃料代	-	*
中途解約手数料	-	*
車両修理代	-	*
事故免責負担金※	-	0
ノンオペレーションチャージ※	-	0
貸渡料金合計 (内消費税)	*	*

※非課税項目となります

貸渡車両	車種	インプレッサSPORT 1.6		車両クラス		
	登録番号	福島 300わ2931		RB-AT		
	装備	ETC 禁煙 ナビ 4WD ABS				
	料金クラス	RB	車両条件メモ			
	指定オプション	ETC 禁煙 ナビ				
	帰着メーター	30,886KM	事故	なし	燃料	満タン
	出発メーター	30,614KM	走行距離	272KM		
	交換車両					
交換日時						

	出発時前受金	帰着時精算金
現金	1,320	0
クレジット (出発時)	0	-
クレジット (帰着時)	-	0
小切手	0	0
クーポン1	*	*
0180224	*	*
クーポン2	*	*
現金払戻し▲	-	0
不乗証明発行額▲	-	*
受領金額合計	*	*
受領金合計	*	*
チケット	*	0
チケット	*	0

レンタル期間	2022年04月25日10時42分 ~ 2022年04月26日12時40分 (到着便:) (出発便:)		
利用期間	01日02時間		
配車先	配車日時		
	名称		
引取日時	住所		
店舗	店舗名	出発店 福島駅西口店	帰着店 郡山駅西口店
	カウンター	福島駅西口店	郡山駅西口店
	TEL	024-525-0643	024-953-3727
キャンペーン名			
特典	Ch@1100/台 現地精算 (台数記載がなければ不要)		
備考	禁煙車・ETC・ナビ		

マイレージ情報

区分	通常マイル
番号	ボーナスマイル
氏名	マイル合計

領収証

富山県議会 自由民主党 様






領収金額 ¥1,320 * 請求金額 *

正に領収いたしました (明細は、レンタル料金計算表中の帰着時精算額どおりとなっております。)

収入印紙

担当者印

終了店	郡山駅西口店	カウンター	郡山駅西口店
住所	福島県郡山市駅前 1-8-17		
担当者		TEL	024-953-3727

視察・調査活動 実施計画書		整理番号	0413002-1		
政務活動費 《事前》審査書		会派名	富山市議会自由民主党		
		議員名	横野 昭		
■ 調査研究費		会派承認欄			
研 修 費	起案日	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
広 報 広 聴 費	R4.5.10	  			
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	承認日				
会 議 費	R4.5.16				
資 料 作 成 費	特記事項				
資 料 購 入 費	高田重信 0416003 横野 昭 0413002				
人 件 費	高田真里 0410002 織田伸一 0402002				
事 務 費					
項目	内容		留意点		
1	実施者	高田重信、横野 昭、高田真里、織田伸一（以上4名）			
2	実施日程	令和4年5月20日(金)			
3	行程	富山駅9:00=泊駅(富山県朝日町)9:51 朝日町役場(10:30~12:00)および現地視察(13:00~14:00) 泊駅(富山県朝日町)15:00=富山駅15:48		政務活動のための合理的な経路か。 政務活動以外の行程が含まれていないか。 宿泊が必要か。	
4	視察 1	視察・調査先	富山県下新川郡朝日町役場		目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先面談予定者	富山県下新川郡朝日町役場(富山県下新川郡朝日町道下1133) 担当 朝日町役場 住民・子ども課 加藤優志課長		
		視察・調査の目的、内容	【目的】移動困難者への移動手段確保のための政策を検討するため。 【内容】住民と、交通事業者、自治体との協力による先進的な仕組みづくりについて学ぶ。		
	視察 2	視察・調査先			
		視察・調査先面談予定者			
		視察・調査の目的、内容			
	視察 3	視察・調査先			
		視察・調査先面談予定者			
		視察・調査の目的、内容			
5	実施経費及び政務活動費の支出予定額 (振込手数料含まない)	交通費	1,940円		対象費用及び単価見積りが適切か。 政務活動費支出方法は適切か。 按分率適用の分母は適切か。(混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
		日当	3,000円/日×1日		
		宿泊費			
		その他	朝日町行政視察受け入れに係る負担金 1,000円		
		合計額	5,940円		
		按分率(充当率)	100% ・ 50%		
		支出額(合計額×按分率)	5,940円		
6	取引規定	■ 抵触なし		取引制限の確認	

旅費計算書

会派名	富山市議会自由民主党
実施予定日	令和4年5月20日
視察・調査予定地	富山県下新川郡朝日町役場(富山県下新川郡朝日町道下1133) 担当 朝日町役場 住民・子ども課 課長 加藤優志

月日	経路	鉄道賃	特急料金	航空料金	車賃	日当	視察受入れ負担金	計
		距離(km)	距離(km)		距離(km)			
		金額(円)	金額(円)		金額(円)			
5 ・ 20	富山→泊	50.1				3,000	1,000	4,970
		970						
5 ・ 20	泊→富山	50.1						970
		970						
・								
・								
・								
・								
・								
・								
小計		1,940				3,000	1,000	/
合計		1,940				3,000	1,000	5,940

参加人数 4人

著作権法により
公開できません

著作権法により
公開できません

○朝日町行政視察受入に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、朝日町（以下「町」という。）が行政視察（以下「視察」という。）を受け入れ、町が保有する行政情報等を提供する際の手続等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(事務分担)

第2条 視察の受付に関する事務は、企画財政課（以下「担当課」という。）において行う。

2 視察の対応は、当該視察の目的事項を所管する部署等（以下「所管課」という。）において行う。

(申請)

第3条 視察を希望する者（以下「視察者」という。）は、行政視察申請書（別記様式）を担当課に提出するものとする。

(決定及び通知)

第4条 担当課は、前条の規定による申請があったときは、所管課と内容、目的等を調整のうえ、視察受入の可否を決定し、視察者に通知するものとする。

(視察費の徴収)

第5条 町長は、視察にかかる資料代等に係る経費（以下「視察費」という。）として、視察者1人当たり1,000円を徴収する。

(免除)

第6条 町長が特に必要と認めるときは、前条の規定による視察費を免除することができる。

(徴収の方法)


第7条 視察費は、町が発行する納入通知書兼領収証書により、徴収する。

(委託)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

視察・調査活動 実績報告書 政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票			整理番号	0413002-2		
			会派名	富山市議会自民党		
			議員名	横野 昭		
<input checked="" type="checkbox"/>	調査研究費	起案日	会派承認欄			
<input checked="" type="checkbox"/>	研修費	R4.6.1	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
<input checked="" type="checkbox"/>	広報広聴費	承認日				
<input checked="" type="checkbox"/>	要請・陳情活動費	R4.6.2				
<input checked="" type="checkbox"/>	会議費	支払件数	支払日(口座振込完了日)		R4.6.2	
<input checked="" type="checkbox"/>	資料作成費	起案日	支払完了報告			
<input checked="" type="checkbox"/>	資料購入費	R4.6.2	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
<input checked="" type="checkbox"/>	人件費	承認日				
<input checked="" type="checkbox"/>	事務費	R4.6.2				
特記事項						
高田重信 0416003 横野 昭 0413002 高田真里 0410002 織田伸一 0402002						
項目	内容				留意点	
1	実施者	高田重信、横野 昭、高田真里、織田伸一 (以上4名)				
2	実施日程	令和4年5月20日(金)				
3	行程	富山駅9:00=泊駅(富山県朝日町)9:51 朝日町役場(10:30~12:00)および現地視察(13:00~13:40) 泊駅(富山県朝日町)14:21=富山駅15:09				政務活動のための合理的な経路か。 政務活動以外の行程が含まれていないか。 宿泊が必要か。
4	視察・調査先	富山県下新川郡朝日町				目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
	視察・調査先面談予定者	富山県下新川郡朝日町役場(富山県下新川郡朝日町道下1133) 町長・笹原靖直、次世代パブリックマネジメントアドバイザー・畠山洋平 住民子ども課 地域交通定住係 主幹・野崎幸恵、地域交通係・小谷野黎				
	視察・調査の目的、内容	【目的】移動困難者への移動手段確保のための政策を検討するため。 【内容】住民と、交通事業者、自治体との協力による先進的な仕組みづくりについて学ぶ。				
	視察・調査先					
視察2	視察・調査先面談予定者					
	視察・調査の目的、内容					

項目		内容			留意点
旅費	支出金額	1,940円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 (混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
	支出先	横野昭議員立替え 立替先:あいの風とやま鉄道(株)			
	支出内容及び積算根拠	富山・泊 往復切符 1,940円			
日当	支出金額	3,000円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
	支出先	横野昭議員立替え			
	支出内容及び積算根拠	5月20日 3,000円×1日=3,000円			
負担金	支出金額	1,000円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
	支出先	横野昭議員立替え			
	支出内容及び積算根拠	5月20日 朝日町行政視察参加者負担金(資料代) 1,000円			
実施経費及び政務活動費支出額	支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
	支出先				
	支出内容及び積算根拠				
取引規定		<input checked="" type="checkbox"/> 抵触なし			
経費総額		5,940円	按分率(充当率)	100%・50%	
按分率適用対象経費及び按分理由					
政務活動費支出(充当)額		5,940円			

6

貼付用紙

見積書・証拠書類等資料貼付欄

(A4版以上の大きさの書類は貼る必要がありません。B6版、A6版など、小さい用紙は貼ってください。)




あいの風とやま鉄道株式会社乗車券は、参加議員4人分(高田重信議員・横野議員・高田真里議員・織田議員)を窓口で一括して購入致しました。7,760円@1,940円です。

原本は、整理番号 0402002-2 に添付

貼付用紙

見積書・証拠書類等資料貼付欄
 (A4版以上の大きさの書類は貼る必要がありません。B6版、A6版など、小さい用紙は貼ってください。)

富 山 県 朝 日 町			
納入通知書兼領収証書			
発行課名		担当	
令和4年度		一般会計	
款	諸収入	項	雑入
節	雑入	目	雑入
		財源コード	16326
納入者	〒 930-8510		
	住所 富山県富山市新桜町7番38号		
	氏名 富山市議会自由民主党 横野 昭 様		
納入金額		百 万 千 円	1 0 0 0
納入期限		令和4年5月20日	
ただし 行政視察参加者負担金(資料代) (1,000円/人×1人)			
上記のとおり納入してください。			
令和4年5月20日			
富山県朝日町長			
納 入 場 所		上記の金額を 領収しました	
朝 日 町 役 場 北陸銀行県内本支店 富山第一銀行泊支店 にかわ信用金庫泊支店 みな穂農業協同組合本支店 富山県信用漁業協同組合連合会本店 (朝日町漁協内) 富山銀行入善支店 北陸労働金庫黒部支店		領収印欄	
			

(納入者保管)

整理番号	0413002-2
------	-----------

振替証明書

会派名 富山市議会自由民主党

金額	5,940	円
----	-------	---


上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和4年6月2日

経理責任者

金谷 幸則



氏名	横野 昭	受領印	
----	------	-----	---



№0413002 5

年月日	摘要	お支払い金額(円)	お預かり金額(円)	差し引き残高(円)
1 04-05-23*		*51,730	普通預金 豊岡議員	*5,063,079
2 04-05-23*		*146,710	普通預金 豊岡議員	*4,916,369
3 04-05-23*		*3,380	普通預金 高岡議員	*4,912,989
4 04-05-23*		*146,710	普通預金 高岡議員	*4,766,279
5 04-05-23*		*146,710	普通預金 飯山議員	*4,619,569
6 04-05-25*		*320,000	給料	*4,299,569
7 04-05-25*		*5,940	普通預金 高田重信議員	*4,293,629
8 04-05-25*		*5,940	普通預金 高田重信議員	*4,287,689
9 04-05-25*		*5,940	普通預金 織田議員	*4,281,749
10 04-05-27		*12,100	タイイロ列	*4,269,649
11 04-05-30	振込資金	*341,550	ヒロX	*3,928,099
12 04-05-30	振込資金	*462,049	(株)北陸販売	*3,466,050
13 04-05-30*		*3,380	普通預金 豊岡議員	*3,462,670
14 04-05-31	新聞代金	*6,880	北日本・朝日新聞	*3,455,790
15 04-05-31*		*146,710	普通預金 田辺議員	*3,309,080
16 04-06-01	振込資金	*47,763	コピー カウント代	*3,261,317
17 04-06-02		*3,380	トヤマシワフン	*3,257,937
18 04-06-02		*3,400	トヤマシワフン	*3,254,537
19 04-06-02*		*5,940	普通預金 横野議員	*3,248,597
20				
21				
22				
23				
24				

(お知らせ)

1. 振込のご提出のあるお取引のときは毎月日付に*と表示します。
2. 振込期をお預け入れのときは、お支払い金額に*と表示します。

タケン 〇〇-〇〇
トヨタ 〇〇-〇〇

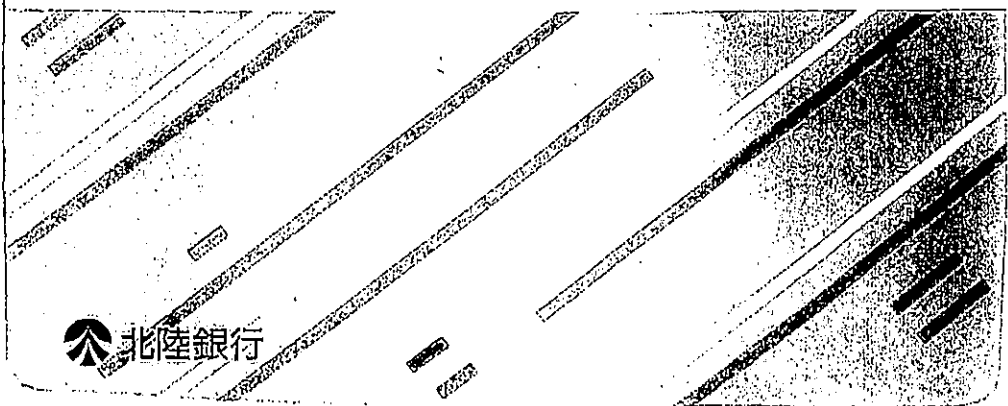
▶ お支払いできる日
お支払いできる期間は、所定の
不遇返還期限経過後となります。

5

普通預金通帳

店番号 口座番号

富山市議会自由民主党様



0413002



富山県朝日町長 笹原 靖直

〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133
TEL 0765-83-1100 FAX 0765-83-1109



富山県朝日町



住民・子ども課 地域交通・定住係

主幹 野崎 幸恵
NOZAKI Yukie

〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133
TEL(0765)83-1100 FAX(0765)83-1109
URL <http://www.town.asahi.toyama.jp>
e-mail yukie-nozaki@int.town.asahi.toyama.jp
自治体関係の方 yukie-nozaki@town.toyama-asahi.jp

富山県朝日町 住民・子ども課
地域交通係



小谷野 黎
KOYANO REI



〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133
【TEL】0765-83-1100 【FAX】0765-83-1109
(自治体の方) rei-koyano@town.toyama-asahi.lg.jp
(その他の方) rei-koyano@int.town.asahi.toyama.jp



朝日町長 山代 史生
次世代パブリックマネジメントアドバイザー



富山 洋平

〒107-6322 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー
M

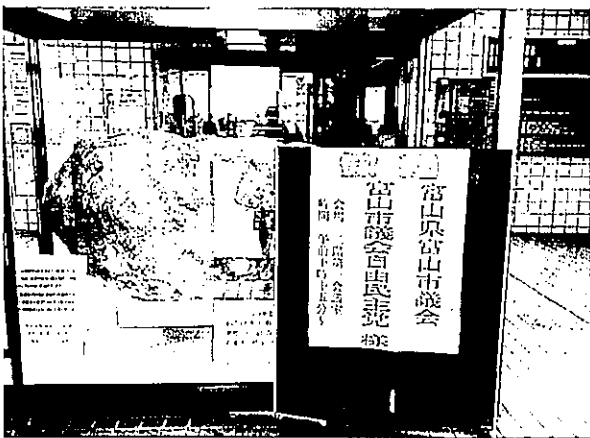
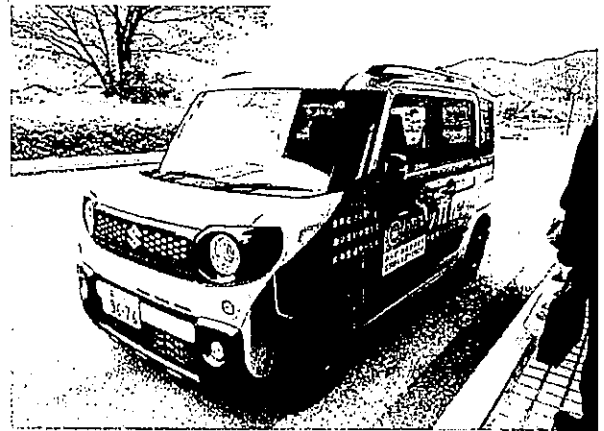
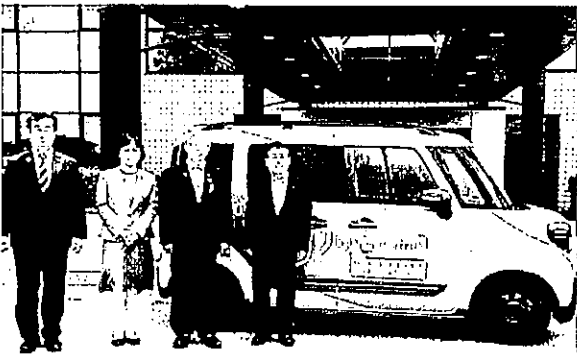
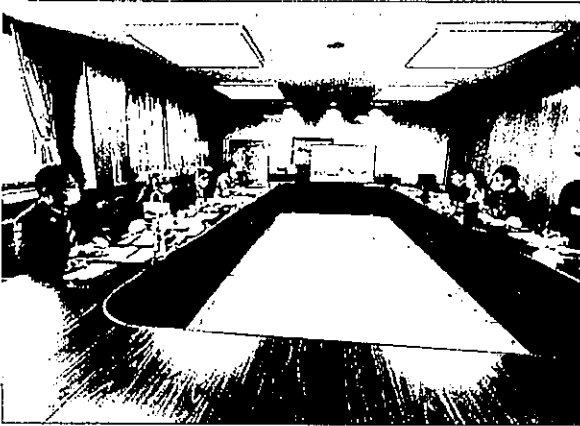
(株式会社 博報堂所属)



株式会社 博報堂
〒107-6322 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂 Bizタワー
M



・HAKUHODO・



著作権法により
公開できません

マイカー乗り合い公共交通

「ノッカルあさひまち」

① 7人1台 - 補充 → 乗客の減少 →

② 廃止

1. ノッカルの背景



- 車両台数に限りがあり、地区によっては巡回頻度が多くない

→地区によって利便性にバラつき

- 車両を増やすためには、運転手や財源の確保が必要

→高齢化の進む朝日町では容易ではない

- 路線上であればどこでも乗り降りできる自由乗降方式

→路線から距離がある方への対応



- 時間や場所の制約が無く、好きな時間に自宅まで来てもらえる

→中心市街地から離れた地区は料金が高額

2020年1月

高齢者の悩み



自家用車は
手放せないな

家族が休みの日に
乗せてもらうわ

行事との時間が
合わないし

バスの待ち時間
が長いし



サービスのポイント



● **法律に基づいた安全なサービス**

道路運送法が定める「市町村運営自家用有償旅客」の範囲内で運用
朝日町役場が運行主体として提供する安全な公共サービス、保険も付与

● **朝日町から交通事業者に運行管理を委託**

タクシー事業、及びあさひまちバスの運行委託を受けている黒東自動車商会が
このサービスの運行管理を行う

● **ドライバーは助け合いの精神をもとに、ついでに送迎**

2種免許保持者または、安全講習を受けたドライバーが個人の自家用車を使って送迎
ドライバーはもともと行く予定のある場所に、近所の利用者を乗せてあげる

● **各地区と中心市街地間の利用に限定**

居住地区から病院・スーパー・役場などがある中心市街地までの利用に限定
自分の車に乗せてあげる利用者は同じ地区に住む住民のみ



地域住民がドライバーとなり、近所の利用者を送迎するサービス

サービスの安全性



● **ドライバーに安全講習を実施**

2種免許を持っていないドライバーに対しては、ドライバーになるための講習を実施
安全運転に自信がない人はドライバーにはなれない

● **安全な車両のみを使用**

運行に使用する車両を登録する際に、車両の状態車検の有効期限を確認

● **運行前にドライバー点呼を実施**

運行前に、ドライバーの健康状態・アルコールの有無を運行管理者が確認
ガイドラインに沿って、使用する車両に問題がないかを確認

● **事故に備えた保険を完備**

万が一運行中の事故が発生した場合に備えて、旅客運送用の保険をかける

① 自家用保険 / 200万 → 追加
50万 任意



安心・安全な運行を目指す

0413002

著作権法により
公開できません

著作権法により
公開できません

著作権法により
公開できません



なぜ博報堂が朝日町と地域交通を？

地域で起きている生活者の課題に対して、
生活者を理解し、マーケティングをしてきた博報堂が貢献できないか？
＝ 広告業転換期における、広告外における新しいチャレンジを朝日町で。

博報堂のフィロソフィ



「生活者発想」

人を、単なる「消費者」として捉えるのではなく、主体性を持って生きる「生活者」として、全方位的に捉え、深く洞察すること



「パートナー主義」

「責任あるパートナーとしてクライアントとともに語り合い、行動し、創造すること」

+

博報堂の強み

「クリエイティビティ」

「ビジネスデザイン力」

広告領域 マーケティング領域

消費者→生活者視点で/withクライアント

広告外領域 イノベーション領域

社会課題解決/with地域や社会

博報堂の目的



地域課題解決を、
行政・地域（生活者/事業者）・企業と一緒に取り組みながら、
新しいサービス/ソリューションを開発し、新たな共創型ビジネスを創る
地域の課題解決に取り組む 新たな共創型のビジネスに

■ 様々な地域課題に取り組む

地域交通
自治体DX
カーボンニュートラル
子育て
地域活性 等

■ 地域と一緒に取り組む







地域住民
地域企業
地域団体
行政 等

新しい
サービス・ソリューション
を開発

■ 自治体向けビジネス

■ 国（省庁）向けビジネス

■ 企業向けビジネス

政務活動費支出額変更 兼 戻入伝票				整理番号	0413002-3	
				会派名	富山市議会自由民主党	
				議員名	横野 昭	
<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	起案日	会派承認欄				
<input type="checkbox"/> 研修費	R4.7.29	代表者	経理責任者	申請者(議員)		
<input type="checkbox"/> 広報広聴費	承認日					
<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	R4.8.4					
<input type="checkbox"/> 会議費	戻入件数	1	戻入日(口座振込完了日)	R4.8.4		
<input type="checkbox"/> 資料作成費	起案日	戻入完了報告				
<input type="checkbox"/> 資料購入費	R4.8.4	代表者	経理責任者	申請者(議員)		
<input type="checkbox"/> 人件費	承認日					
<input type="checkbox"/> 事務費	R4.8.5					
特記事項						
高田重信 0416003 横野 昭 0413002 高田真里 0410002 織田伸一 0402002						
戻入内容	令和4年5月20日 朝日町行政視察の日当を戻入する。					
積算根拠	朝日町ほか視察旅費、朝日町行政視察参加者負担金(資料代)及び日当 5,940円 【内訳】 旅費 1,940円 朝日町行政視察参加者負担金(資料代)1,000円 【戻入】 日当 3,000円					
政務活動費支出額 変更状況	変更前		→	変更後		
	5,940円			2,940円		
政務活動費戻入額	3,000円					
領収書等資料貼付欄(この欄に納まらない場合は、様式14の貼付用紙に貼ってください)						

項目		内容			留意点
旅費	支出金額	1,940円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 (混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
	支出先	横野昭議員立替え 立替先:あいの風とやま鉄道(株)			
	支出内容及び積算根拠	富山・泊 往復切符 1,940円			
日当	支出金額	3,000円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
	支出先	横野昭議員立替え			
	支出内容及び積算根拠	5月20日 3,000円×1日=3,000円			
負担金	支出金額	1,000円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
	支出先	横野昭議員立替え			
	支出内容及び積算根拠	5月20日 朝日町行政視察参加者負担金(資料代) 1,000円			
実施経費及び政務活動費支出額	支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
	支出先				
	支出内容及び積算根拠				
取引規定	<input checked="" type="checkbox"/> 抵触なし				
経費総額	5,940円	按分率(充当率)	100%・50%		
按分率適用対象経費及び按分理由					
政務活動費支出(充当)額	5,940円				

項目		内容			留意点
旅費	支出金額	1,940円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座(立替)	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 (混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
	支出先	横野昭議員立替え 立替先:あいの風とやま鉄道(株)			
	支出内容及び積算根拠	富山・泊 往復切符 1,940円			
実施経費及び政務活動費支出額	支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座(立替)	
	支出先				
	支出内容及び積算根拠				
負担金	支出金額	1,000円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座(立替)	
	支出先	横野昭議員立替			
	支出内容及び積算根拠	5月20日 朝日町行政視察参加者負担金(資料代) 1,000円			
実施経費及び政務活動費支出額	支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座(立替)	
	支出先				
	支出内容及び積算根拠				
取引規定	<input checked="" type="checkbox"/> 抵触なし				
経費総額	2,940円	按分率(充当率)	100%・50%		
按分率適用対象経費及び按分理由					
政務活動費支出(充当)額	2,940円				



0413002 7

年月日	摘要	お支払い金額(円)	お預かり金額(円)	差し引き残高(円)
1 04-07-20	振込	トマジンカイヨムカ	*6,750,000	*8,833,122
2 04-07-22		*39,710	キョウトウシステム	*8,793,412
3 04-07-22	振込資金	*2,165	インターネット代	*8,791,247
4 04-07-25		*7,400	SMBC(シブア)ンYC	*8,783,847
5 04-07-25*		*320,000	給料	*8,463,847
6 04-07-26	普通預金	成田議員戻入	*2,375	*8,466,222
7 04-07-28*		*23,370	普通預金 成田議員	*8,442,852
8 04-07-28*		*42,590	普通預金 松井議員	*8,400,262
9 04-07-29	新聞代金	*6,880	北日本・朝日新聞	*8,393,382
10 04-07-29*		*3,380	普通預金 豊岡議員	*8,390,002
11 04-07-29	振込資金	*1,881	日本文堂	*8,388,121
12 04-07-29	振込資金	*33,928	コピローカウンター	*8,354,193

13 04-08-02		*12,100	タツイチンタル	*8,342,093
14 04-08-02		*3,380	トマジンファン	*8,338,713
15 04-08-02		*3,400	トマジンファン	*8,335,313
16 04-08-03		*91,343	シブアファイナンス	*8,243,970
17 04-08-04	普通預金	高田重信議員戻入	*3,000	*8,246,970
18 04-08-04	普通預金	横野議員戻入	*3,000	*8,249,970
19 04-08-04*			*3,000	*8,252,970
20 04-08-04	普通預金	高田真里議員戻入 系部 田吉議員戻入	*3,000	*8,255,970
21				
22				
23				
24				

(お知らせ)

1. 通帳のご提出のあるお取引のときは年月日別に*と表示します。
2. 振込額をお間違い入れのときは、お支払い金額順に次のとおり表示します。

お支払いできる日
お支払できる金額は、お定の
不超過は即時超過となります。



普通預金通帳

店番号

口座番号

富山市議会自由民主党様

北陸銀行

視察・調査活動 実施計画書 政務活動費 《事前》審査書		整理番号	0413004-1				
		会派名	富山市議会自由民主党				
		議員名	横野 昭				
■ 調査研究費		会派承認欄					
研 修 費	起案日	代表者	経理責任者	申請者(議員)			
広 報 広 聴 費	R4.9.13	  					
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	承認日						
会 費	R4.9.16						
資 料 作 成 費	特記事項						
資 料 購 入 費	横野 昭 0413004 松井邦人 0406004 「共通資料は、松井議員に添付してあります。」						
人 件 費							
事 務 費							
項 目	内 容			留意点			
1	実施者	松井邦人、横野昭 (以上2名)					
2	実施日程	令和4年10月6日(木)~7日(金) 1泊2日					
3	行程	行程表の通り ※別途添付			政務活動のための合理的な経路か、政務活動以外の行程が含まれていないか、宿泊が必要か。		
4	視察 1	視察・調査先	府中市		目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。		
		視察・調査先 面談予定者	府中市役所(府中市宮西町2-24 042-364-4111) 担当 未定				
		視察・調査の目的、内容	【内容】道路等包括管理事業について先進事例を学ぶ 【目的】社会インフラマネジメントに向け、先行事例を学び反映させていく				
	視察 2	視察・調査先	盛岡市				
		視察・調査先 面談予定者	盛岡市役所(盛岡市内丸12-2 019-651-4111) 担当 未定				
		視察・調査の目的、内容	【内容】盛岡南公園野球場(仮称)整備事業について先進事例を学ぶ 【目的】県・市連携事業の深化に向け、先行事例を学び反映させていく				
	視察 3	視察・調査先					
		視察・調査先 面談予定者					
		視察・調査の目的、内容					
5	実施経費及び政務活動費の支出予定額 (振込手数料含まない)	交通費	51,140円		対象費用及び単価見積が適切か。政務活動費充当方法は適切か。按分率適用の分母は適切か。(混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)		
		日当	3,000円/日×2日				
		宿泊費	9,500円				
		その他					
		合計額	66,640円				
		按分率(充当率)	100% ・ 50%				
		支出額(合計額×按分率)	66,640円				
6	取引規定	■ 抵触なし			取引制限の確認		

富山市議会自由民主党 視察日程表

№0413004

日程：令和4年10月6日（木）～ 7日（金）

10/6 (木)	<p>JR はくたか554号</p> <p>富山駅 7:48 発</p> <p>JR 埼京線</p> <p>大宮駅 10:11 着</p> <p>JR 武蔵野線</p> <p>武蔵浦和駅 10:19 発</p> <p>府中本町駅 10:31 着</p> <p>府中市 10:34 発</p> <p>府中本町駅 11:04 着</p> <p>府中市 13:30 ~ 15:00 視察</p>
	<p>JR 武蔵野線</p> <p>府中本町駅 15:29 発</p> <p>JR 埼京線</p> <p>武蔵浦和駅 16:00 着</p> <p>JR はやぶさ35号</p> <p>大宮駅 16:07 発</p> <p>盛岡駅 16:19 着</p> <p>盛岡駅 16:45 発</p> <p>盛岡駅 18:33 着</p> <p>宿泊ホテル</p>
<p>【視察事項】 府中市道路等包括管理事業について</p> <p>【宿泊先】 未定</p>	
10/7 (金)	<p>盛岡市様送迎</p> <p>宿泊ホテル</p> <p>盛岡市役所 10:00 ~ 11:30 視察</p> <p>盛岡市様送迎</p> <p>盛岡駅 12:50 発</p> <p>JR 新幹線はやぶさ22号</p> <p>大宮駅 14:39 着</p> <p>JR はくたか567号</p> <p>大宮駅 14:49 発</p> <p>富山駅 16:56 着</p>
<p>【視察事項】 盛岡南公園野球場（仮称）整備事業について</p>	

視察・調査活動 実績報告書 政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票			整理番号	0413004-2		
			会派名	富山市議会自由民主党		
			議員名	横野 昭		
<input type="checkbox"/>	調査研究費	起案日	会派承認欄			
<input checked="" type="checkbox"/>	研修費	R4.10.18	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
<input checked="" type="checkbox"/>	広報広聴費	承認日				
<input checked="" type="checkbox"/>	要請・陳情活動費	R4.10.24				
<input checked="" type="checkbox"/>	会議費	支払件数	1	支払日(口座振込完了日)	R4.10.24	
<input checked="" type="checkbox"/>	資料作成費	起案日	支払完了報告			
<input checked="" type="checkbox"/>	資料購入費	R4.10.24	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
<input checked="" type="checkbox"/>	人件費	承認日				
<input checked="" type="checkbox"/>	事務費	R4.10.25				
特記事項						
横野 昭 0413004 松井邦人 0406004 共通事項(視察対応者の名刺、および対応状況写真)は松井議員の申請書に添付してあります。						
項目	内容				留意点	
1	実施者	富山市議会自由民主党会派 横野議員				
2	実施日程	令和4年10月6日(木)~7日(金) 1泊2日				
3	行程	「行程表」のとおり ※行程表添付				政務活動のための合理的な経路か。 政務活動以外の行程が含まれていないか。 宿泊が必要か。
4	視察1	視察・調査先	府中市役所			目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先 面談予定者	府中市役所:直井秀典、佐藤文宣、石谷由樹			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】道路等包括管理事業について先進事例を学ぶ 【目的】社会インフラマネジメントに向け、先行事例を学び反映させていく			
	視察2	視察・調査先	盛岡市役所			
		視察・調査先 面談予定者	盛岡市役所:吉田誠量、畠山健太			
		視察・調査の 目的、内容	【内容】盛岡南公園野球場(仮称)整備事業について先進事例を学ぶ 【目的】県・市連携事業の深化に向け、先行事例を学び反映させていく			
視察3	視察・調査先					
	視察・調査先 面談予定者					
	視察・調査の 目的、内容					

項目	内容	留意点
<p>視察・調査活動の内容</p>	<p>(視察1)府中市の道路等包括管理事業について説明を受けました。従来の管理方法で、インフラを維持することは技術者不足と共に困難と判断し、インフラマネジメントを導入していた。その手法として指定管理者制度や包括的民間委託、PFIを検討した結果、道路等包括管理事業を推進し、平成26年度から平成28年度の3年間に於いて、市のけあき並木通り包括管理事業を実施し、効果が得られたので、平成30年から令和2年まで北西地域に拡大して実施した。発注者と受注者、市民との意見交換を通してより効果が得られたので、対象範囲をさらに広げて、南西地区、東地区に分散し、市域全域(三地区)を、令和3年度から令和5年度まで包括管理と単価契約を併せた民間委託をしていた。この取り組みで、インフラに関する苦情を受けるコールセンターも民間委託し、市職員が対応する必要なくなった事と処理対応時間が大きく短縮され、市民サービス向上になっていると報告を受けました。</p> <p>(視察2)盛岡南公園野球場(仮称)は、それぞれの球場の老朽化が著しく、盛岡市の担当部長と岩手県の担当部長との協議から始まり、職員同士の話し合いで整備を行うこととなった。この過程では、岩手県と盛岡市とでそれぞれの役割及び費用割合(建設費や維持管理・運営費)をどのようにするか紆余曲折があったが、建設費については、約82億円で(県4、盛岡市6)維持管理費・運営費約26.8億円(県5、盛岡市5)協議が整った。共同で行うメリットについて市単独より高規格な施設整備が可能となり、プロ野球誘致等が可能になった。イニシアルコスト、ランニングコストが削減できる。デメリットは、状況に応じた協議において、意思決定の迅速・的確性が阻害されることが懸念されると説明を受けました。</p>	<p>目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等。</p>
<p>5</p> <p>市政への影響、反映、成果等</p>	<p>(視察1)本市は、土木センターと本庁建設部で維持管理等を分離して管理している。府中市に比べ面積が広大なので道路等包括管理委託を検討する上では、困難な面もあるが、住民サービスの向上などを考えると、府中市の取り組みを参考にしながら検討すべきと思う。どの範囲で検討していくべきかという選定や、行政側と受注者側(建設業協会、など)とで委託する内容について協議をしっかりと行う必要があると思う。現在、本市における道路などの維持管理業務は直営と委託があるが、府中市のような取り組みにより迅速な対応ができる。また、近年の土木系職員の応募が少ない現状を考えると今後は厳しくなっていく事が予想され、市民サービスが低下する可能性があると思う。土木センターを廃止して、地域ごとのPFIを導入することも近い将来必要と思う。</p> <p>(視察2)富山市には市民球場(アルペンスタジアム)と県営球場があり、アルペンスタジアムは大規模改修を行う予定だが県営球場は老朽化が著しい状況である。</p> <p>本市においても、人口減少、市税収入の減少が避けられない状況を鑑みると公共施設の活用において、県と市の連携事業もこれからの課題であり、一例だが県の武道館や市体育館のあり方など協議の必要性がある。県知事が掲げるワンチームとやまにおいて公共施設の統合もしくは廃止議論を活発に行い、それぞれのコスト削減することも必要であると思う。</p>	<p>政務活動のみの内容か。 政務活動以外の政党活動、選挙活動、後援会活動等とみなされる表現、構成になっていないか。</p> <p>政務活動費を支出できる内容か。 (金額、1/2、支出不可)</p>
<p>その他及び 政務活動以外で 取り扱った内容</p>		

項目		内容			留意点
旅費	支出金額	60,640円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座(立替)	対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 (混在不明確な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
	支出先	横野議員【立替え支払い先】JAなのはな			
	支出内容及び積算根拠	JR代 51,140円(富山駅-府中本町駅、府中本町駅-盛岡駅、盛岡駅-富山駅) 宿泊費 9,500円 別紙領収書のとおり			
日当	支出金額	6,000円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座(立替)	
	支出先	横野議員			
	支出内容及び積算根拠	10月6日(木)7日(金) 2日分 3,000円/日×2日			
実施経費及び政務活動費支出額	支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座(立替)	
	支出先				
	支出内容及び積算根拠				
6	支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座(立替)	
	支出先				
	支出内容及び積算根拠				
取引規定	<input checked="" type="checkbox"/> 抵触なし				
経費総額	66,640円	按分率(充当率)	100%・50%		
按分率適用対象経費及び按分理由					
政務活動費支出(充当)額	66,640円				

貼付用紙

見積書・証拠書類等資料貼付欄

(A4版以上の大きさの書類は貼る必要がありません。B6版、A6版など、小さい用紙は貼ってください。)

No. 241790

領 収 書

音山市議会

自由民主党 横野昭様

令和4年9月29日

千	百	拾	万	千	百	拾	円
9			760		640		

但 東京銀行 振込 24

上記正に領収いたしました



なのはな農業協同組合

〈ご注意〉 組合の領収年月日および取扱者印のないものは無効です。また、訂正した場合、訂正印のないものは無効です。領収いたしました小切手・手形等が万一決済されなかつたときは、本書と引換えに小切手・手形等をお返しいたします。



取扱者印

振替証明書

会派名 富山市議会自由民主党

金額	66,640	円
----	--------	---


上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和4年10月24日

経理責任者

金谷 幸則



氏名	横野 昭	受領印	
----	------	-----	---



№0413004

10

年月日	摘要	お支払い金額(円)	お預かり金額(円)	差し引き残高(円)
1 04-10-11	振込資金	*2,165	インターネット代	*6,496,682
2 04-10-14*		*57,930	普通預金 高道議員	*6,438,752
3 04-10-14*		*57,930	普通預金 豊岡議員	*6,380,822
4 04-10-14*		*57,930	普通預金 系畝田議員	*6,322,892
5 04-10-17	電話料	*3,336	0764316101	*6,319,556
6 04-10-17*		*3,380	普通預金 高原議員	*6,316,176
7 04-10-20	振込	トヤマキ"カイヨムカ	*6,750,000	*13,066,176
8 04-10-20*		*66,640	普通預金 松井議員	*12,999,536
9 04-10-24		*39,710	キョウト"ウシステム	*12,959,826
10 04-10-24		*7,400	SMBC(シブ"ンYC	*12,952,426
11 04-10-24*		*66,640	普通預金 横野議員	*12,885,786
12 04-10-24	振込資金	*5,005	明文堂	*12,880,781

13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

(お知らせ)
 1. 通帳のご提出のあるお取引のときは年月日欄に*と表示します。
 2. 通帳にお預け入れのときは、お支払い金額に次のとおり表示します。

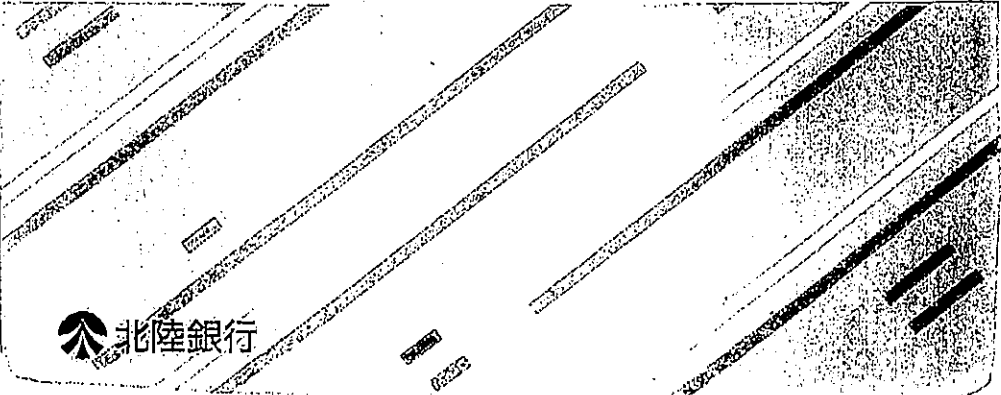
10

お支払いできる日
 お支払できる期間は、所定の
 不渡当り期限を過ぎた後となります。

普通預金通帳

店番号 □ 口座番号

富山市議会自由民主党 様



富山市議会自由民主党 視察日程表

0413004

日程：令和4年10月6日（木）～7日（金）

10/6 (木)	<p>JR はくたか554号</p> <p>富山駅 7:48 発</p> <p>JR 埼京線</p> <p>大宮駅 10:11 着</p> <p>武蔵浦和駅 10:19 発</p> <p>10:31 着</p> <p>JR 武蔵野線</p> <p>府中本町駅 10:34 発</p> <p>11:04 着</p> <p>府中市 13:30 ~ 15:00 視察</p>
	<p>JR 武蔵野線</p> <p>府中本町駅 15:29 発</p> <p>JR 埼京線</p> <p>武蔵浦和駅 16:00 着</p> <p>大宮駅 16:07 発</p> <p>16:19 着</p> <p>JR はやぶさ35号</p> <p>盛岡駅 16:45 発</p> <p>18:33 着</p> <p>宿泊ホテル</p> <p>【視察事項】 府中市道路等包括管理事業について</p> <p>【宿泊先】 未定</p>
10/7 (金)	<p>盛岡市様送迎</p> <p>宿泊ホテル</p> <p>盛岡市役所 10:00 ~ 11:30 視察</p> <p>盛岡市様送迎</p> <p>盛岡駅 12:50 発</p> <p>JR 新幹線はやぶさ22号</p> <p>大宮駅 14:39 着</p> <p>JR はくたか567号</p> <p>富山駅 14:49 発</p> <p>16:56 着</p> <p>【視察事項】 盛岡南公園野球場（仮称）整備事業について</p>

道路に関する異常などの要望・相談をお知らせ下さい！

道路を利用する皆様からの要望・相談を受け付けています。

連絡先

府中市道路管理センター

☎ 042-340-0160

contact@fuchudic.jp



二次元コードからも
お問合せ可能です。

夜間・休日も受付しております。

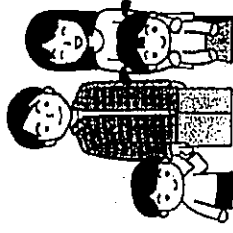
安全で快適な街づくりのためご協力よろしく申し上げます。

※令和3年(2021年)4月1日から
「府中市道路等包括管理事業」の
管理エリアが市全域になりました！



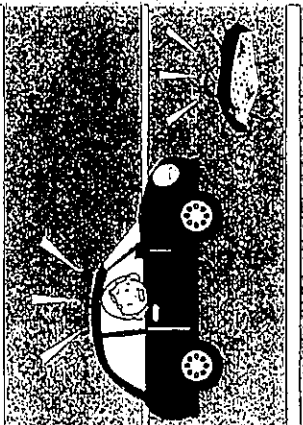
①ほっとするね緑の府中

府中市

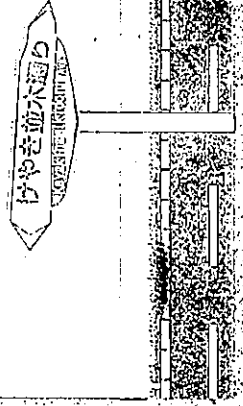


『道路に関する異常』の例

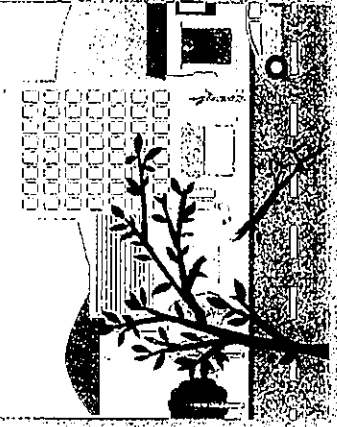
道路の穴ぼこ



道路付属物の不具合



街路樹の枯枝



不法投棄



- インフラマネジメントについて
- けやき並木通り包括管理事業の試行
- 道路等包括管理事業推進方針の策定
- 道路等包括管理事業(北西地区)の運用
- 道路等包括管理事業運用方針の策定
- 道路等包括管理事業の本運用

インフラマネジメントについて —インフラ管理の課題—

- 高度経済成長期(昭和30年代～40年代)に整備したインフラは、老朽化により一斉に更新時期にきている
- ↓
- さらに「老朽化対策」と「インフラの数量の増加」により、今後の管理費用が増大することが予測されるため、これまで通りの管理方法でインフラを維持することは困難
- ↓
- 市の財政状況を踏まえ、安全なインフラの維持のため、「インフラマネジメント」に取り組むことが必要

3

インフラマネジメントについて —手法の検討—

1 業務に関する検討

【8割程度の業務が民間委託可能】

指定管理者制度

2 法務に関する検討

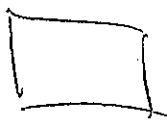
【3つの手法を比較検討】



包括的民間委託

3 財務に関する検討

【1割程度のコスト削減を期待】

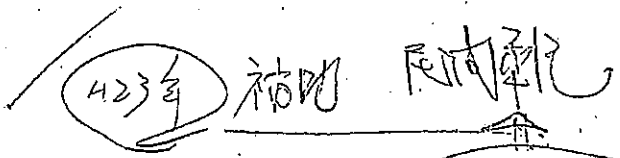


⇒【道路等包括管理事業として推進】

インフラマネジメントについて —包括管理事業の目的と特徴—

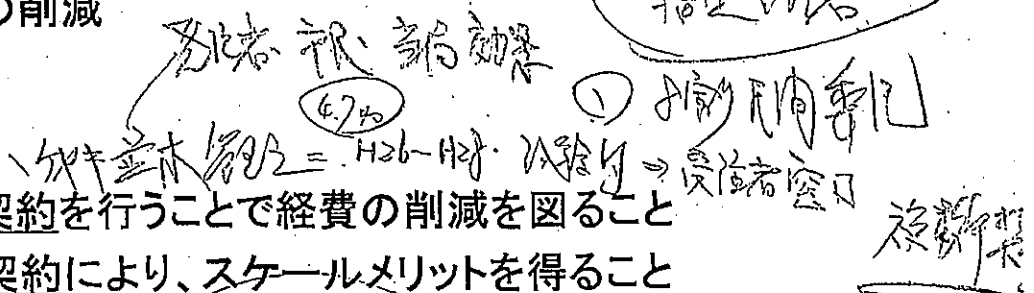
【目的】

- 1 官民連携手法の推進
- 2 市民サービスの向上
- 3 管理経費の削減



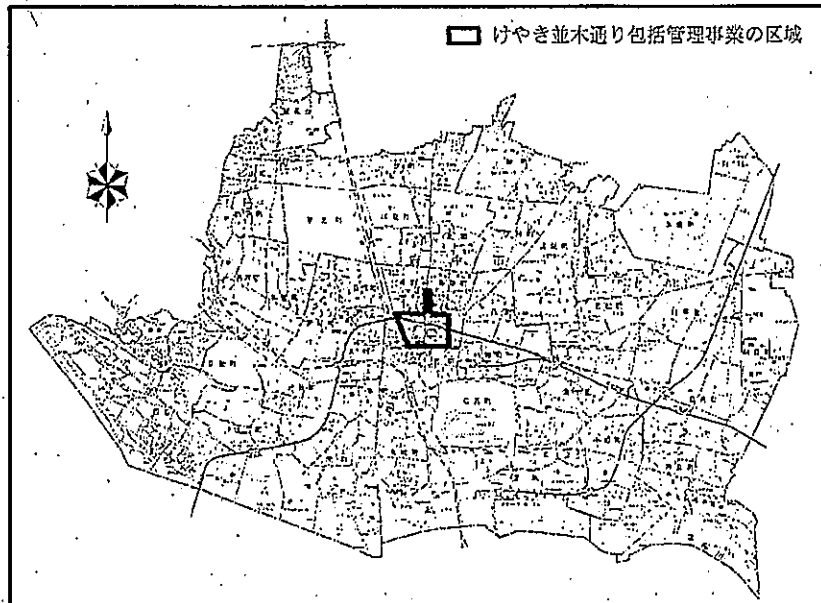
【特徴】

- 1 包括的な契約を行うことで経費の削減を図ること
- 2 複数年度契約により、スケールメリットを得ること
- 3 性能発注方式により、民間のノウハウを活用すること



4

けやき並木通り包括管理事業の試行



道路等包括管理事業推進方針の策定 —けやき並木通り包括管理事業の評価—

視点	項目	備考
発注者(市)における効果	市民サービスの向上	要望相談件数が約42%減少
	コストの削減	約7.4%削減
受注者(事業者)における効果	複数年契約	3年間
	複数業務の一括契約	計画的な維持管理
	インフラ包括管理に携わる意義	公共事業の経験
利用者(市民)における効果	市民ヒアリング	自治会・商店会を対象
	利用者アンケート	イベントの来場者を対象



評価

有効な事業であると評価できる。
課題は、適宜解消し次の事業に反映する。



道路等包括管理事業推進方針の策定 — 道路等包括管理事業の課題 —

項目	課題
対象作業	想定していた業務に対して、加えて実施することが必要な作業や期限等が明らかになった。
	現在は、事業の対象範囲が狭いため、採算性が低い。
	性能発注であるため、受注者が自ら判断できない行政権を伴う作業を除く必要がある。
要求水準	「従来の市の管理水準以上の作業」と、「対応しきれないように思える作業」があり、区別しにくい。市が求める要求水準が伝わらない場合がある。
発注方法	委託額に反映できる受注者の創意工夫を求める必要がある。
契約の内容 ・ 枠組み	条件やリスクについて、公募時点にすべてを明らかにすることは困難である。
	提示される書類の内容を見直し、受注者の作業と市の意向に齟齬がないようにする。
	包括管理事業の目的の一つである「市民サービス向上」を達成するため、受注者自ら検証や調整を行い、より効率的で効果的な事業とする必要がある。
	地域のインフラ施設の維持管理であることから、市内事業者も大手事業者も参入できる事業とする必要がある。
	災害発生時には、随意に受注者へ委託できるような発注方法とする必要がある。
広報	市民の積極的な維持管理作業への参加を促すため、更なる市民への情報提供や理解を求める広報を行う必要がある。

道路等包括管理事業推進方針の策定 — 道路等包括管理事業の課題の改善方針 —

項目	改善方針
対象作業	必要な作業項目や作業内容について、業務要求水準書に追記する。(業務要求水準書に反映し改善)
	予防保全や受注者の採算性を考慮し、対象作業を増やす。(適正な事業内容の検討に反映し改善)
	受注者のノウハウが発揮しづらい作業を除く。(適正な事業内容の検討に反映し改善)
要求水準	市が意図する要求水準が伝わるよう、業務要求水準書を見直す。(業務要求水準書に反映し改善)
発注方法	受注者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを行う。(適正な事業内容の検討に反映し改善)
契約の内容 ・ 枠組み	必要な条件や想定されるリスクを、契約書に追記する。(契約書や業務要求水準書に反映し改善)
	契約書と業務要求水準書を確認し、内容の統一を図る。(契約書や業務要求水準書に反映し改善)
	受注者の自由度を高めて性能発注の特性を活かすため、業務内容の拡大や見直しを行う。(適正な事業内容の検討に反映し改善)
	市内事業者の参入の促進、市内事業者と大手事業者の適切な役割分担で事業を進める。(市内事業者と大手事業者との役割分担に関する検討に反映し改善)
	災害発生時に必要な工事が実施できるような発注方法とする。(事業スキームに反映し改善)
広報	包括管理事業について、さらに市民に知ってもらう取組を行う。(実現に向けたスケジュールに反映し改善)

盛岡南公園野球場（仮称）整備事業について

Q 1 当事業を岩手県と盛岡市が共同で行うことになった経緯と目的

A 1 県・市とも保有する野球場の老朽化を抱えており、人口減少社会における公共施設の保有最適化の観点から、共同で整備することとしたもの。

Q 2 工事の進捗状況とスケジュール

A 2 令和4年9月末時点の進捗率は約77%であり、5年4月のオープンに向け順調に進んでいる。

今後は、指定管理者の指定等を行うほか、事業者から提案されたイベント等が確実に実施できるよう、事業者と打ち合わせを重ねる。

Q 3 岩手県と盛岡市のそれぞれの役割、費用割合（建設費や維持管理・運営費）

A 3 自治法に規定する「連携協約」及び「事務の委託」の議決を得たことから、事務は盛岡市が行い、毎月、定例的に行っている事業者との運営会議等で情報共有を行うほか、個別事案が発生した都度、別途打合せを行っている。

建設費：約8.2億円（岩手県4：盛岡市6）→ 4:1

維持管理・運営費：約26.8億円（岩手県5：盛岡市5）

◎ 1/812

◎ 8/215

Q 4 岩手県と共同で事業を行うことによるメリットとデメリット

A 4 メリット

- ・市単独より高規格な施設整備が可能となり、プロ野球誘致等が可能となった。
- ・県・市が別々に建設し、管理することに比べ、イニシャルコスト、ランニングコストが削減された。

デメリット

- ・盛岡市と都南村の合併建設計画によりスタートした事業であるが、計画途中で、県との共同事業になったことにより、きめ細やかな行政サービス提供の困難化が懸念される。
- ・事務の委託により盛岡市で事務を一元的に行うことになるものの、状況に応じた岩手県との協議は不可欠であり、意思決定の迅速・的確性が阻害されることが懸念される。

Q 5 岩手県と共同で行う事業があれば、その内容や予定

A 5 クライミングワールドカップ（令和4年10月20日～22日）

県営運動公園を会場として開催される大会運営に市職員も従事。

Q 6 岩手県や他市町村と連携する組織、その組織の概要や業務内容

A 6 市長公室企画調整課都市戦略室

盛岡広域の8市町で共通する課題について、広域圏の強みを生かしながら、連携したまちづくりを進めており、広域連携推進、盛岡ブランド・シティプロモーションなどを行っている。

交流推進部スポーツ推進課スポーツツーリズム推進室

盛岡広域8市町で、スポーツを通じた相互連携・協調による広域圏の魅力の発信と賑わいの創出を図っており、スポーツイベントへの協賛としての盛岡広域特産品セットの提供や、スポーツに親しみ、スポーツを支える市民ネットワークの構築などを行っている。

盛岡南公園野球場（仮称）整備事業について

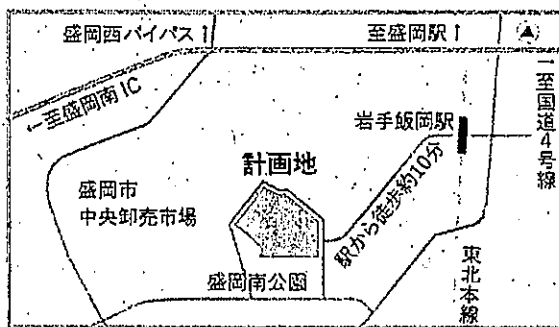
1 盛岡南公園の概要

平成4（1992）年に「盛岡市都南村合併建設計画」の土地利用構想において、市全体の体育施設計画に盛岡南公園が位置付けられ、平成7（1995）年9月には、面積19.7haの総合公園として都市計画決定されました。

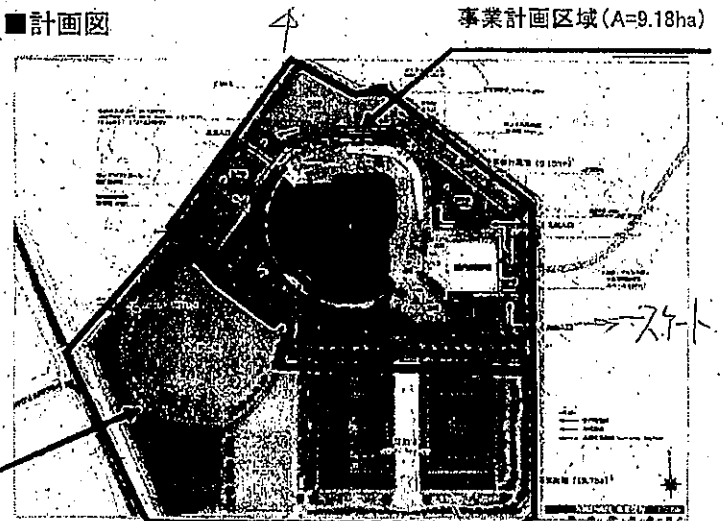
本公園は、「みどりと躍動のふれあい公園」をテーマに、健康づくりに親しみ、スポーツ技術の向上を図れる市民の健康づくり場として計画されました。平成11（1999）年に開催された岩手インターハイのサッカー競技会場として天然芝2面の球技場を整備し、平成16（2004）年からは、同球技場（いわぎんスタジアム）はJ3いわてグルージャ盛岡のホームスタジアムとして、多くの試合や大会に利用されています。

また、平成16（2004）年には、野球やサッカー競技に利用可能な多目的広場、平成19（2007）年にスケードボード施設を整備し、市民の健康づくり場として利用されており、現在は、公園面積の約5割の10.52haが供用されています。

■位置図(所在地:盛岡市永井7地割16-32)



■計画図



開設区域(A=10.52ha)

2 野球場整備の背景

盛岡市営野球場は、昭和13（1938）年に盛岡市東新庄に建設された施設で、老朽化が著しく、設備の機能や安全性においてサービス水準が低い施設となっています。また、盛岡市三ツ割に建設された岩手県営野球場は、昭和45（1970）年に開催された岩手国体に合わせて整備され、高校野球岩手大会やプロ野球一軍公式戦などが開催されてきましたが、こちらも老朽化が著しい状況にあります。

本事業は、これら両野球場それぞれの課題を解決するとともに、盛岡市と岩手県が共同で整備を行うことにより、市が単独で既存市営野球場の代替機能として整備する規模及び仕様よりも高規格な施設整備が可能となることから、これまで市営野球場で行われてきた各種軟式野球大会等のほか、県営野球場で行われてきた高校野球岩手大会やプロ野球一軍公式戦にも対応できる野球場整備を行うことを目的としています。

また、野球以外の多目的な利用にも対応し、集客効果が期待されるスポーツ産業等の振興を図り、利用団体をはじめとする市民・県民の期待に応えられる施設となるよう、野球場のほか、屋内練習場及び外構等を整備するものです。

老朽化対策 → 高規格な計画
 12ヶ月前にサッカー場
 サービス

(2) 施設計画 (図1, 図2参照)

ア 公園全体

- (ア) 高規格な野球場と屋内練習場を一体的に整備し、両施設をブリッジで接続するほか、来場者が多く往来する中央部にイベント広場を設け、東西軸として「ざくらストリート」を設けるなど、明快なアプローチにより公園全体での賑わいを創出し、市民に楽しさを提供します。
- (イ) 広島マツダスタジアムで導入された遊環構造理論を基に、イベント広場を核とした施設配置としながら、場内エリアを周回できる回遊性・循環性の高いコンコースを整備することで、日常的に野球場と触れ合うことができ、市民に愛され、親しまれるボールパークとします。

イ 野球場 (図4参照)

- (ア) アマチュア野球の聖地であり、プロ野球一軍本拠地でもある明治神宮野球場と同規格の高品質な人工芝を使用します。
- (イ) スコアボードは、全面フルカラーLED方式による大型映像装置とし、イベント時には、リプレイ等の映像を再生可能とします。
- (ウ) プルペンを1・3塁側スタンド下屋内に各3レーン設置するほか、ストレッチやトレーニング、キャッチボール等が可能なエリア及び素振りスペースを整備します。

ウ 屋内練習場 (図3, 図4参照)

- (ア) 1・2階それぞれにランニングコース兼見学スペースを設置します。
- (イ) 各種マシンやボルダリング壁、人工芝エリアを備え、幅広い年齢・目的に応えるトレーニングルームを設置します。
- (ウ) 遊びを通じた子どもの運動機能向上を目的とし、ネット遊具やボルダリングウォール等、子どもが自由に遊べる場を整備します。
- (エ) 料理教室等に対応可能なカフェ(休憩)スペースを設置し、誰でも気軽に訪れることのできる憩いの場を創出します。

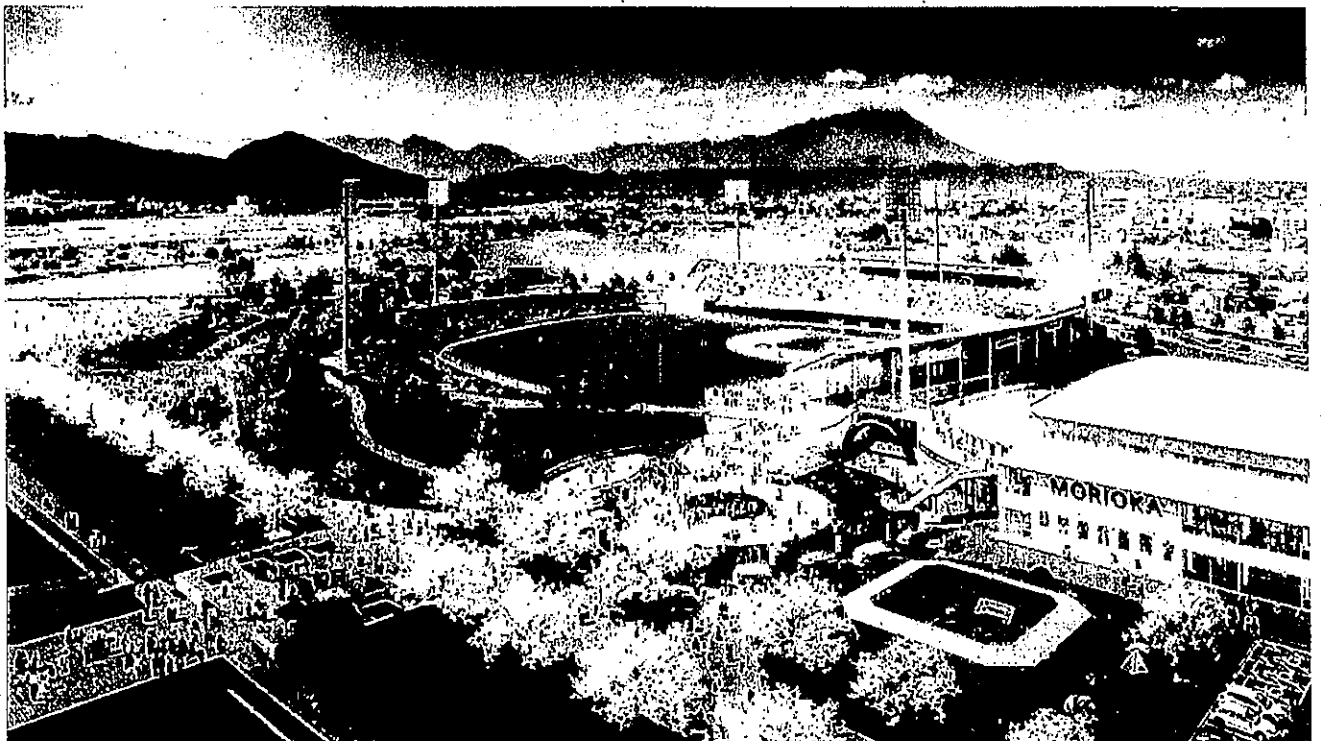


図1：全体鳥瞰図 (イメージ図)

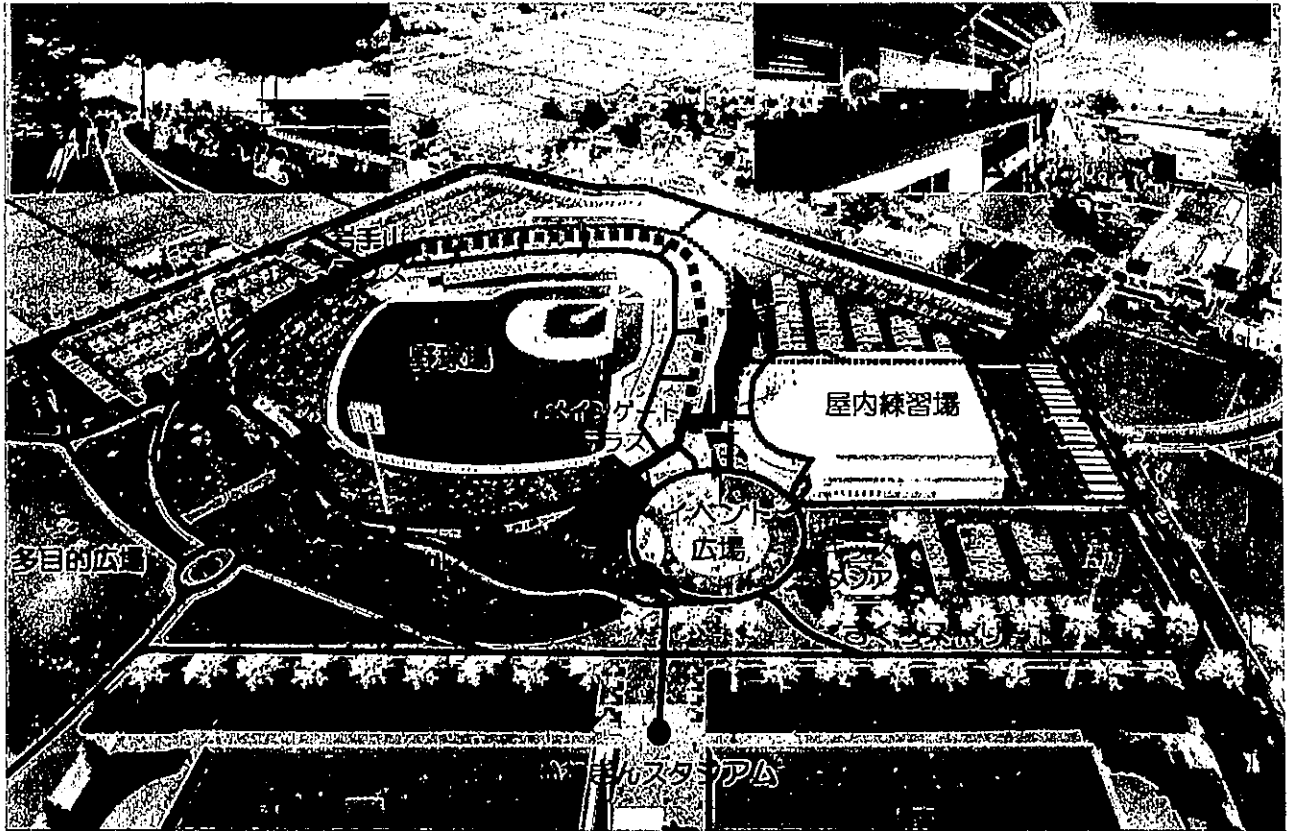


図2：循環性・回遊性を生み出す園路と広場

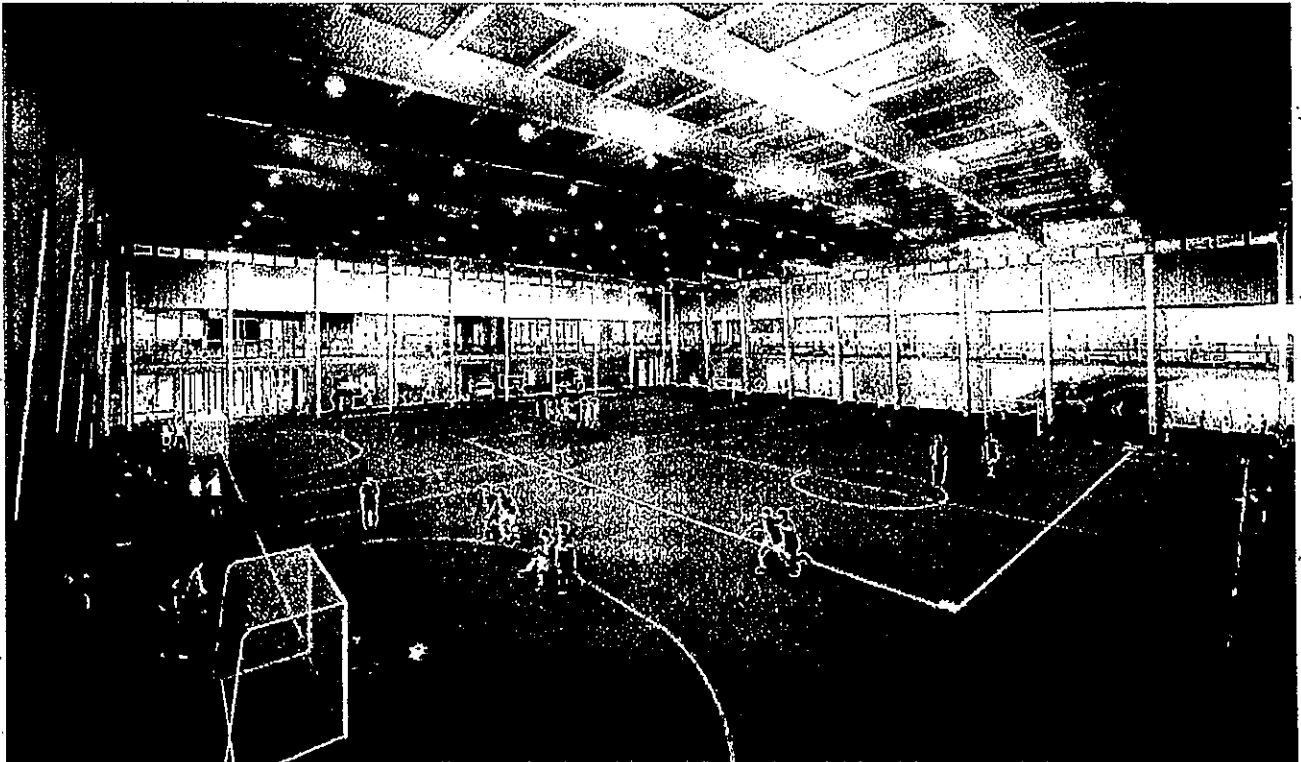


図3：屋内練習場内観イメージ図

■スコアボード (大型映像設備)

スコアボードはバックスクリーン一体型とし、全面LEDとします。
また、大型映像システムに対応したフルカラーLEDとします。
(時刻表示時はスコアボードを稼働させずに稼働できるようにLED部分とは分離します。
場内放送システムと連携可能です。
一般利用を考慮し、特別な招待を受けなく同甲に利用できるような設備(カメラ操作、DVD再生等)を標準とします。
スコアボード表示部に使用するLEDモジュールは、モジュール使用数の1%程度を予備品として納入します。




26m
7.5m
間隔: φ2m
フルスクリーン部分
文字高さ: 600mm
間隔距離: 180mm

■人工芝

内外野のフィールドにはアマチュア野球の聖地である明治神宮野球場で使用している、ロングパイル人工芝である「ハイブリッドターフExiting」を採用します。
人工芝の芝葉の厚さが400ミクロンと310ミクロンの2種類のものを組み合わせることで、金属スパイクにも耐える高弾力性をもちます。また、断面形状の異なるものを組み合わせることで光を拡散し、眩しさを抑えることができます。
芝葉には、湿度を吸収しにくい原料を用いるため、湿度上昇を抑制する効果があります。
濃淡2色のグリーンを配合し、天然芝に近いイメージを醸し出します。
人工芝の下部構造の施工は、光波自動測量機を用いた地形測量を行う情報化施工を行うことで、仕上がりの精度や平坦性を確保します。



人工芝採用実績 (明治神宮野球場)




充てり物の補正性




排水ヤーンによる耐圧向上イメージ

■屋内練習場の遊び場

- ・けんけん広場
 - ・屋内練習場の2階の屋上テラスは、遊具利用の場となるほかネット遊具と繋がった子どもの遊び場となります。他の活動から離れた安全な遊び場として利用できます。また、野球場2階コンコースと連絡ブリッジで繋がっているため、プロ野球観戦時、多くの人が集まった際の入り口から離れた休憩場所としても利用できます。
- ・ネット遊具/ボルダリングウォール
 - ・カフェスペースには子ども用ボルダリングウォールとネット遊具を設けます。運動機能的な基礎となる四肢の開拓、バランス感覚を育むのに有効なアイテムです。
遊具設とも、子どもが自由に自由に遊べる場とします。真夏や雨期、天候が厳しい時期や、他施設で活動している間、限定したカフェスペースで休憩している間などの遊び場として利用できます。
・屋内練習場の事務室とカフェスペースに併せて設けることで、運営スタッフ及びカフェ利用者の人の目による安全管理を行うことが可能です。





ネット遊具別写真実例 (イメージ参考写真)
ボルダリングウォール別写真実例 (イメージ参考写真)

図4: スコアボード・人工芝・けんけん広場・ネット遊具・ボルダリングウォールの特徴




(3) 施設の主な特徴

ア 岩手らしさ・盛岡らしさ

- (7) 立地を最大限生かす計画により、岩手山や南昌山を眺望できるテラスを整備するほか、外野席後方に雄大な眺望を背景として高木を植栽した「フォレストパーク」や遊歩道を整備することで、雄大な山々を望むパノラマ景観を眺望できる環境とします。
- (4) イベント広場に隣接する野球場のフィールドへの動線に、久慈次郎をはじめとした岩手・盛岡の野球関係者や岩手・盛岡にゆかりのある現役選手を顕彰し、岩手・盛岡の野球の歴史を継承するための「顕彰スペース」を整備します。また、床面は野球場のフィールドを模したデザインとすることで、高揚感を演出し、写真撮影スポットとしても機能します。
- (9) 顕彰スペース等の来場者の目につきやすい箇所や、観客動線となることが想定される箇所等に地元産木材(県産材・市産材)を活用することで、岩手らしさ・盛岡らしさを体現します。

イ バリアフリー対策

- (7) コンコースから観客席に至る経路や外野席後ろの経路に、緩い勾配のスロープを設置することで、年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも利用しやすい施設とします。
- (4) 車いす用駐車場、多目的(オストメイト対応)トイレ、エレベーターを集約配置とすることで、移動距離を短くし、段差を経由せず、安心して観戦できるよう配慮した施設とします。
- (9) 車いす用観客席について、合計100席(内・外野各50席)を設置し、オリンピック施設規格と同程度かつ東北地方最多の車いすスペースを有する施設とすることで、誰もが「見たい場所で見ることのできる環境」を整備します。

視察・調査活動 実施計画書 政務活動費 《事前》審査書		整理番号	0413005-1		
		会派名	富山市議会自由民主党		
		議員名	横野 昭		
■ 調査研究費		会派承認欄			
研 修 費	起案日	代表者	経理責任者	申請者(議員)	
広 報 広 聴 費	R5.1.10	  			
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	承認日				
会 議 費	R 5 . 1 . 11				
資 料 作 成 費	特記事項				
資 料 購 入 費	横野昭 0413005 高道秋彦 0411015 松井邦人 0406007				
人 件 費	高原譲 0403015				
事 務 費					
項 目	内 容		留 意 点		
1	実施者	松井邦人、高原譲、高道秋彦、横野昭(以上4名)			
2	実施日程	令和5年1月24日(火)~25日(水) 1泊2日			
3	行程	行程表の通り ※別途添付		政務活動のための合理的な経路か、政務活動以外の行程が含まれていないか、宿泊が必要か。	
4	視察 1	視察・調査先	郡山市		目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先面談予定者	郡山市役所(郡山市朝日1-23-7 024-924-2521) 担当 未定		
		視察・調査の目的、内容	【内容】市立総合体育館改修事業について先進事例を学ぶ 【目的】富山市総合体育館改修に向け、先行事例を学び反映させていく		
	視察 2	視察・調査先	青森市		
		視察・調査先面談予定者	青森市役所(青森市中央1-22-5 017-734-5743) 担当 未定		
		視察・調査の目的、内容	【内容】公立病院の統合再編について先進事例を学ぶ 【目的】公立病院の統合再編に向け、先行事例を学び反映させていく		
	視察 3	視察・調査先			
		視察・調査先面談予定者			
		視察・調査の目的、内容			
5	実施経費及び政務活動費の支出予定額 (振込手数料含まない)	交通費	50,400円		対象費用及び単価見積りが適切か、政務活動費充当方法は適切か、按分率適用の分母は適切か。(混在不明確な部分対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
		日当	3,000円/日×2日		
		宿泊費	10,000円		
		その他			
		合計額	66,400円		
		按分率(充当率)	100% ・ 50%		
		支出額(合計額×按分率)	66,400円		
6	取引規定	■ 抵触なし		取引制限の確認	

富山市議会自由民主党 視察行程表

日程 令和 5 年 1 月 24 日(火)～令和 5 年 1 月 25 日(水)

1月24日 (火)	新幹線かがやき504号				新幹線やまびこ55号		視察	
	富山駅	大宮駅	郡山駅	郡山市				
	8:08 発	9:55 着	10:05 発	10:58 着	13:30	15:00		
新幹線やまびこ65号		新幹線はやぶさ31号		JR				
郡山駅	仙台駅	新青森駅	青森駅					
15:58 発	16:38 着	16:53 発	18:39 着	18:51 発	18:57 着			
宿泊ホテル	【視察項目】 福島ファイヤーボウズのホームアリーナとしての郡山総合体育館改修事業について 【宿泊ホテル】 リッチモンドホテル青森							

1月25日 (水)	視察		JR 新幹線はやぶさ28号				
	宿泊ホテル	青森市役所	青森駅	新青森駅			
		10:00	11:30	13:34 発	13:39 着	13:52 発	
新幹線かがやき511号							
大宮駅	富山駅						
16:39 着	16:49 発	18:33 着					
【視察項目】 青森県立中央病院と青森市民病院の統合について							

備考

【郡山市議会事務局】
 〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号
 TEL:024-924-2521
 FAX:024-938-2810
 郡山市議会事務局 総務議事課 ツキタ 様

【青森市議会事務局】
 〒030-8555 青森市中央一丁目22-5
 TEL:017-734-5743
 FAX:017-734-5824
 青森市議会事務局 議事調査課 木村 様

№0413005

御 旅 程 表

JAなのhana 生活課 観光事業

富山市豊田本町3-18-21

TEL 076-438-2214

FAX 076-438-3670


令和4年12月22日

担当

富山市議会 自由民主党 横野 昭			様	旅行先		郡山 青森 行政視察					
旅行日		令和5年1月24日 令和5年1月25日		人数	大人		小人	計	1泊 2日		車船中 泊
					男	女					旅館 1泊
日程	月日	曜日	行 程 表								
1	1月24日	火	8:08 富山駅====かがやき504号====大宮駅====やまびこ55号====郡山駅 9:55 10:05 10:58 13:30~15:00 15:58 16:38 16:53 郡山市役所(視察) 郡山駅====やまびこ65号====仙台駅====はやぶさ31号 18:39 18:51 18:57 ====新青森駅====普通列車====青森駅 TEL 017-732-7655 チェックイン 14:00 チェックアウト11:00 *リッチモンドホテル青森(1泊朝食 シングル 禁煙)								
2	1月25日	水	10:00~11:30 13:34 13:39 13:52 ホテル...徒歩5分...青森市役所(視察) 青森駅====普通列車====新青森駅==== 16:39 16:49 18:33 ====はやぶさ28号====大宮駅====かがやき511号====富山駅								

概算費用御見積り				(責任人数 5名)		
J	R	富山~青森駅	50,400	宿泊料金	1泊朝食サ税込	10,000
J	R	(往復)		食事費		
J	R			宴会費		
貸切観光バス代						
定期観光バス代						
高速有料道路代						
有料駐車代				寸志・その他		
バス航送代				添乗経費		
乗船券				乗務員昼食		
入場入拝料				総費用計		60,400

- コースの見方
- バス ・
 - 車 ☺
 - JR □
 - 私鉄 ■
 - 飛行機・
 - フェリー ・
 - 夕シー ・
 - 徒歩 ・

視察・調査活動 実績報告書 政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票				整理番号	0413005-2		
				会派名	富山市議会自由民主党		
				議員名	横野昭		
<input checked="" type="checkbox"/>	調査研究費	起案日	会派承認				
<input checked="" type="checkbox"/>	研修費	R5.1.31	代表者	経理責任者	申請者(議員)		
<input checked="" type="checkbox"/>	広報広聴費	承認日	  				
<input checked="" type="checkbox"/>	要請・陳情活動費	R5.2.7					
<input checked="" type="checkbox"/>	会議費	支払件数	1	支払日(口座振込完了日)	R5.2.7		
<input checked="" type="checkbox"/>	資料作成費	起案日	支払完了報告				
<input checked="" type="checkbox"/>	資料購入費	R5.2.7	代表者	経理責任者	申請者(議員)		
<input checked="" type="checkbox"/>	人件費	承認日	  				
<input checked="" type="checkbox"/>	事務費	R5.2.17					
特記事項							
横野昭 0413005 松井邦人 0406007 高原譲 0403015 ※ 共通資料(面談者名刺、視察写真)は、松井議員に添付してあります。高道 秋彦議員は ■■■■ より不参加。							
項目	内容					留意点	
1	実施者	松井邦人、高原譲、横野昭 (以上3名)					
2	実施日程	令和5年1月24日(火)~25日(水) 1泊2日					
3	行程	行程表の通り ※別途添付					政務活動のための合理的な経路か。政務活動以外の行程が含まれていないか。宿泊が必要か。
4	視察1	視察・調査先	郡山市役所				目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等はどうか。
		視察・調査先面談予定者	郡山市役所:郡司兼介、翁澤正彰				
	視察・調査の目的、内容	【内容】市立総合体育館改修事業について先進事例を学ぶ 【目的】富山市総合体育館改修に向け、先行事例を学び反映させていく					
	視察2	視察・調査先	青森市役所				
視察・調査先面談予定者		青森市民病院事務局:高野新、小堀泰資、佐藤源志					
	視察・調査の目的、内容	【内容】公立病院の統合再編について先進事例を学ぶ 【目的】公立病院の統合再編に向け、先行事例を学び反映させていく					

項目	内容	留意点
<p>視察・調査活動の内容</p>	<p>(視察1) 郡山市におけるPFI制度を活用した開成山地区の整備事業について、説明を受けました。今回の視察で、体育施設整備事業について、取り組み状況の説明を受けました。開成山地区体育施設の長寿命化に伴う公共施設総合管理計画がきっかけとなり、スポーツの拠点施設である体育館の整備について、PFI方式(優先交渉権者:ゼビオコーポレート(株))を導入した。PFI導入に当たり、福島ファイヤーボンズの本拠地である郡山総合体育館(現2,556席)をBリーグが定める新B1基準(客席5,000席確保、スイートルーム、ラウンジ等)を満たすアリーナとして改修する事になっていた。また、設計や整備に関しては令和5年度から行うので、新B1基準に向けたアリーナへの改修対応や市民への意識醸成はこれからの課題として残っていた。供用開始は令和7年4月を予定している。</p> <p>(視察2) 国の医療提供体制改革では、人口減少や少子高齢化の進展を見据え、地域医療構想の実現、医師・医療従事者の働き方改革の推進、実効性のある医師偏在対策の着実な推進を三位一体で進めることとされていた。青森市民病院と県立中央病院は共に築35年以上が経過し、老朽化が進行している状況であり、国の方向性も併せて、建替え等に向けた検討が必要な時期であり、両病院の更なる連携が求められていた。これらの状況を踏まえ、県と市が共同で「県立中央病院と青森市民病院のあり方検討協議会」を設置し、令和4年2月に青森県と青森市の共同経営による統合病院を新築整備するとの基本方針に基づき知事と市長が共同会見を開き、今後具体的な検討を進める事になっていた。統合病院の開業は6年から7年後の予定なので、令和5年度から共同経営に関する協議を行っていく予定であった。</p>	<p>目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等の具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等。</p>
<p>5 市政への影響、反映、成果等</p>	<p>(視察1) 郡山市のように長寿命化対策とは違いがあるが、現行の体育館の利用状況と新B1基準のアリーナ整備によっては、施設の利用状況に大きな変化が生まれ、利用者の会場変更など新たな課題の解決も必要であると思います。郡山市の現状について確認したが、これからの取り組みと説明がありました。富山市も課題の整理が必要であると思う。郡山市との情報交換を密にして市民への意識醸成などハード面やソフト面での支援方法など検討することが必要だと思う。既存の体育館を改修してアリーナ整備を目指す本市や郡山市のような取り組みに対する意味は大きいと思う。</p> <p>新B1リーグは、競技成績による昇格や降格がないので本市で日本のトッププロスポーツが観戦できる環境は、市民に与える影響も大きいものと思います。</p> <p>(視察2) 青森市の取り組み状況を聞いて、富山市も国の施策に準じた富山市民病院のこれからの取り組みの参考になると感じました。令和5年で築40年が経ち老朽化による病院施設としての機能低下が懸念されることも考慮して、今後は建替えを含め考えていかなければならない。市民病院は、まちなか病院を改修することも検討しているが、青森市のように、県との協議が必要であると感じました。医師不足については、青森市民病院や県立病院ともに弘前大学からの医師の派遣であり、長期的な展望を持った上で、医療提供体制に対する協力が得られる。青森市は青森県と共同で統合病院を運営していく計画なので、本市においても、富山県や他の病院との協議を含め、どのような形態で行っていくのか検討が必要であると思う。</p>	<p>政務活動のみの内容か。 政務活動以外の政党活動、選挙活動、後援会活動等とみなされる表現、構成になっていないか。</p> <p>政務活動費を支出できる内容か。 (全額、1/2、支出不可)</p>
<p>その他及び政務活動以外で取り扱った内容</p>		

項目		内容			留意点
実施経費 及び 政務活動費支出額	旅費	支出金額	60,400円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)
		支出先	横野議員【立替え支払い先】JAなのはな		
		支出内容及び 積算根拠	JR代 50,400円(富山駅-青森駅:往復) 宿泊費 10,000円 別紙領収書のとおり		
	日当	支出金額	6,000円	支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)
		支出先	横野議員		
		支出内容及び 積算根拠	1月24日(火)25日(水) 2日分 3,000円/日×2日		
		支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座 (立替)
		支出先			
		支出内容及び 積算根拠			
		支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座 (立替)
		支出先			
		支出内容及び 積算根拠			
	支出金額		支出方法	<input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
	支出先				
	支出内容及び 積算根拠				
取引規定		<input checked="" type="checkbox"/> 抵触なし			対象費用及び単価見積が適切か。 按分率適用の分母は適切か。 政務活動費充当方法は適切か。 (混在不明な部分が対象。明確な部分は当初除外してあるか。)
経費総額		66,400円	按分率 (充当率)	100%・50%	
按分率適用対象経費 及び 按分理由					
政務活動費 支出(充当)額		66,400円			

貼付用紙

見積書・証拠書類等資料貼付欄
(A4版以上の大きさの書類は貼る必要がありません。B6版、A6版など、小さい用紙は貼ってください。)

No. 244666 領 収 書

高山市議会
自由民主の横野昭様 令和5年1月18日

千	百	拾	万	千	百	拾	円
4			7	6	0	4	00

但し 帯取付可 希状とシ

上記正に領収いたしました

なのはな農業協同組合
なのはな

取扱者印

200

＜ご注意＞ 組合の領収年月日および取扱者印のないものは無効です。また、訂正した場合、訂正印のないものは無効です。
領収いたしました小切手・手形等が万一決済されなかったときは、本書と引換えに小切手・手形等をお返しいたします。

整理番号	0413005-2
------	-----------

振替証明書

会派名 富山市議会自由民主党

金額	66,400	円
----	--------	---

上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和5年2月7日

経理責任者

金谷 幸則



氏名	横野 昭	受領印	
----	------	-----	--



№0413005

年月日	摘要	お支払い金額(円)	お預かり金額(円)	差し引き残高(円)
1 **-*-**	繰越			*15,924,856
2 05-02-02		*3,380	トヤマコフン	*15,921,476
3 05-02-02		*3,400	トヤマコフン	*15,918,076
4 05-02-02	振込資金	*42,512	ゴローカケント代	*15,875,564
5 05-02-07*		*66,400	普通預金横野議員	*15,809,164
6 05-02-07*		*66,400	普通預金松井議員	*15,742,764
7 05-02-07*		*3,380	普通預金豊岡議員	*15,739,384
8 05-02-07	振込資金	*2,165	インターネット代	*15,737,219
9 05-02-07*		*159,500	大用堂	*15,577,719
10 05-02-07*		*57,200	大用堂	*15,520,519
11 05-02-07*		*25,300	大用堂	*15,495,219
12 05-02-07*		*14,520	大用堂	*15,480,699

13 05-02-07*		*550	振込手数料	*15,480,149
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

(お知らせ)
 1. 当金ご提出のあるお取引のとき毎月印刷にてお示しします。
 2. 振込額をお預け入れのときは、お支払い翌日以後の七割り表示します。
 タケン
 トリタテ

お支払いできる日
 お支払いできる範囲は、各支店の
 本支店時刻表を参照してください。

普通預金通帳

店番号 口座番号

富山市議会自由民主党様



富山市議会自由民主党 視察行程表

日程 令和 5 年 1 月 24 日(火)～令和 5 年 1 月 25 日(水)

1月24日(火)

新幹線かがやき504号 新幹線やまびこ55号

富山駅	大宮駅	郡山駅	郡山市
8:08 発	9:55 着	10:05 発	10:58 着
			13:30 着

視察

新幹線やまびこ65号 新幹線はやぶさ31号 JR

郡山駅	仙台駅	新青森駅	青森駅
15:58 発	16:38 着	16:53 発	18:39 着
			18:51 発
			18:57 着

宿泊ホテル

【視察項目】
福島ファイヤーボンズのホームアリーナとしての郡山総合体育館改修事業について

【宿泊ホテル】
リッチモンドホテル青森

1月25日(水)

JR 新幹線はやぶさ28号

宿泊ホテル	青森市役所	青森駅	新青森駅
	10:00 着	11:30 着	13:34 着
			13:39 発
			13:52 着

視察

新幹線かがやき511号

大宮駅	富山駅
16:39 着	16:49 発
	18:33 着

【視察項目】
青森県立中央病院と青森市民病院の統合について

備考

【郡山市議会事務局】
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号
TEL:024-924-2521
FAX:024-938-2810
郡山市議会事務局 総務議事課 ツキタ 様

【青森市議会事務局】
〒030-8555 青森市中央一丁目22-5
TEL:017-734-5743
FAX:017-734-5824
青森市議会事務局 議事調査課 木村 様



【開成山公園等Park-PFI事業】

《根拠法令》

都市公園法

《事業範囲・面積》

開成山公園の西側 11.99ha

水・緑公園 0.42ha

開拓公園 0.19ha

開成二丁目公園 0.29ha

合計 12.89ha

《選定事業者》

代表企業：大和リース(株)

構成員：4社

【開成山地区体育施設整備事業】

《根拠法令》

PFI法

《事業範囲・面積》

開成山公園の東側 12.8ha

総合体育館 2.8ha

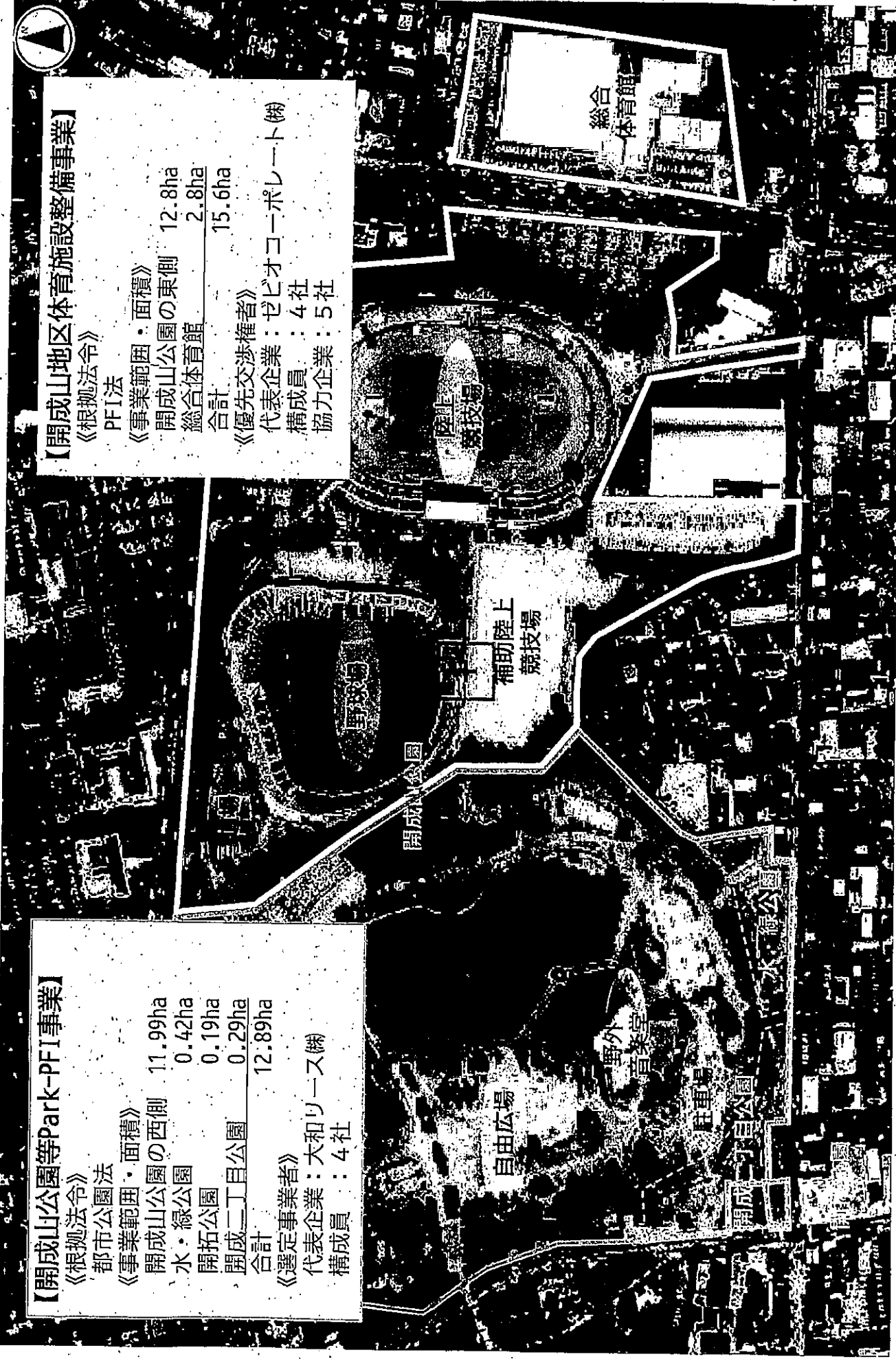
合計 15.6ha

《優先交渉権者》

代表企業：ゼビオコーポレート(株)

構成員：4社

協力企業：5社



事業概要

施設の長寿化に伴う
大規模改修

民間活力導入
(PFI方式)

スポーツの拠点施設形成

市民がスポーツに親しむ場
ウェア・ウェア / インクルーシブ / With You

一体的な
改修整備

郡山総合体育館
開成山陸上競技場
開成山野球場
開成山弓道場

維持管理・運営

プロスポーツ・大規模大会の開催
地域カナル / カナリイアライ

財政負担の軽減
カビ・水害向上

都市機能向上・防災力強化
誘導施設 / 地域防災

築40年以上経過

整備方針

- 1 全ての市民がスポーツに親しみ、楽しめる機会の提供
- 2 幅広いスポーツの競技環境の整備による競技力の向上
- 3 ハイレベルなプロスポーツに触れることによるスポーツ文化の醸成と活性化

事業にかかる予算

令和4年5月から民間事業者を公募することとし、令和4年3月定例会において、債務負担行為を議定

開成山地区体育施設整備・運営事業 (PFI事業) : 10,500,000千円

設計・施工・維持管理運営に要する費用 (債務負担予算: 令和4年度から令和14年度までの10年間)

スケジュール

2022 (R4) 年度
[公募・事業選定]

2023 (R5) 年度
[事業者による設計・工例]

2024 (R6) 年度
[明業者による施工・維持管理・運営]

2025年度~
供用開始

5/26~11/2
事業者選定

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

5/26~11/2
設計・工例

9月
議会

9月
議会

9月
議会

9月
議会

9月
議会

9月
議会

9月
議会

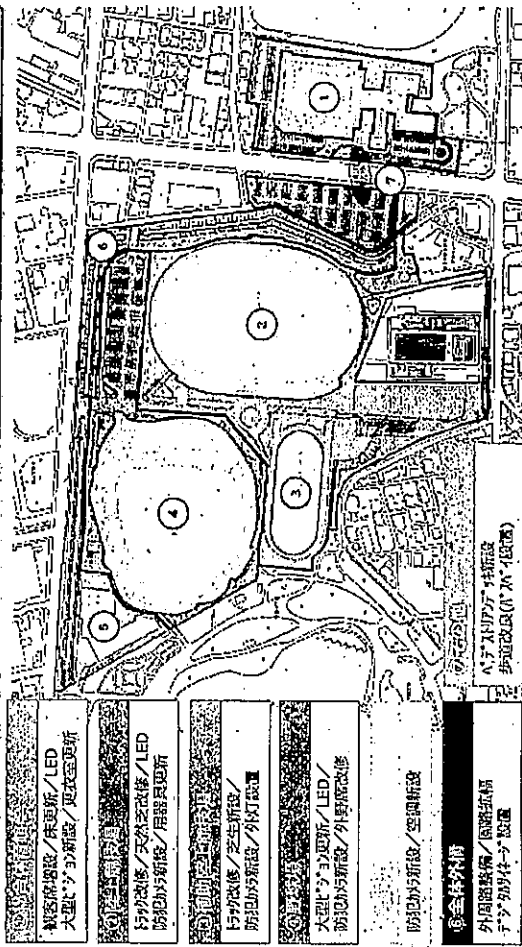
9月
議会

9月
議会

9月
議会

9月
議会

主な整備内容



施設整備費における財源内訳

① 公共資金

国庫補助金(都市構造再編集中支援事業) 補助率 50%
起債(公共事業等債 ※補助費負担分) 充当率 90%
一般財源(国庫補助金対象外)
企業版ふるさと納税

② 民間資金 ※寄附払い

※維持管理・運営費は事業者の維持管理・運営が始まる2024年度以降に各年度四半期払い

整備費内訳

※竣工後、順次供用開始

【事業者の主な業務】
・現管理者からの引継ぎ
・オープニングセレモニー等の準備
・各種マニュアル等作成

PFI 開成山地区体育施設整備事業について



富山市 磯谷 日田 氏土 氏土 氏土 氏土 氏土
2023年1月24日
文化スポーツ部 スポーツ振興課

趣旨

宝来屋 郡山総合体育館、郡山ヒロセ開成山陸上競技場及びヨーク開成山スタジアム等の施設について、PPP/PFI手法等の民間活力導入により、すべての市民がスポーツに親しむことができ、各種プロスポーツや大規模大会が開催される市のスポーツ拠点形成するためのリノベーションと当該施設の維持管理・運営を行う指定管理者の事業者の選定結果と今後のスケジュールについて報告するもの。

本事業の制度

開成山地区スポーツ施設の一体的な改修整備
財政負担の軽減・サービス水準向上

PFI法【抜粋】（基本理念）
第三條 公共施設等の整備等に関する事業は、国及び地方公共団体と民間事業者との適切な役割分担並びに財政資金の効率的な活用を踏まえつつ、行政の効率化又は地方公共団体の財産の有効利用にも配慮し、当該事業により生ずる収益等をもってこれに要する費用を支弁することが可能である等の理由により民間事業者が行わせることが適当なものであるものとする。

開成山地区スポーツ施設の一体的な改修整備
財政負担の軽減・サービス水準向上

選定結果

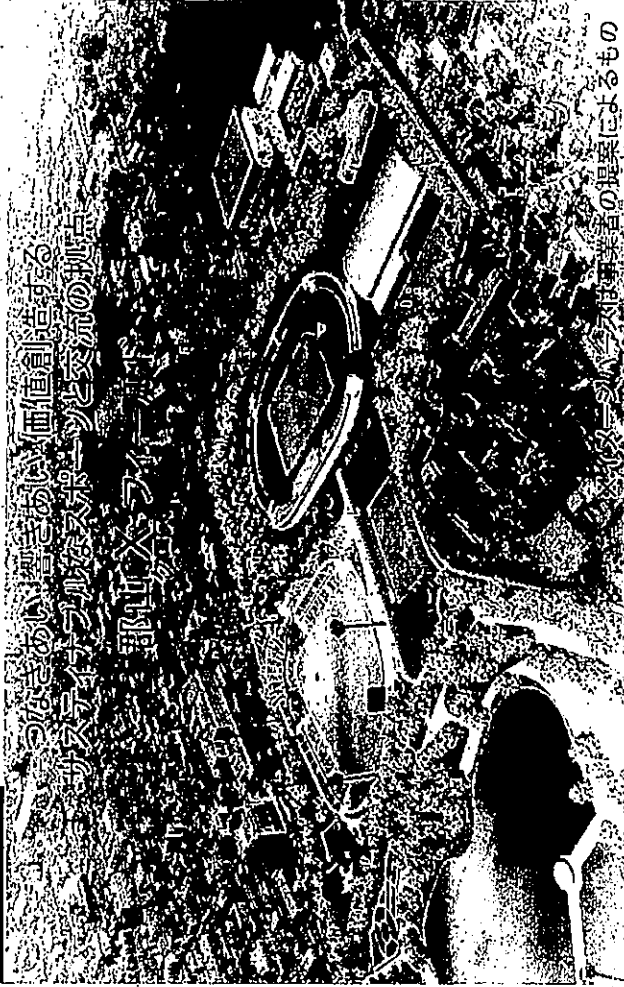
応募事業者数

優先交渉権者

次点者

12月(2カ月分)
株式会社 開成山地区スポーツ施設整備株式会社
株式会社 開成山地区スポーツ施設整備株式会社
株式会社 開成山地区スポーツ施設整備株式会社
株式会社 開成山地区スポーツ施設整備株式会社
株式会社 開成山地区スポーツ施設整備株式会社
株式会社 開成山地区スポーツ施設整備株式会社
株式会社 開成山地区スポーツ施設整備株式会社
株式会社 開成山地区スポーツ施設整備株式会社

整備イメージ



イメージによるもの

提案事業者決定・公表等のスケジュール

区分	2022 (R4) 年度			2023 (R5) 年度			2024 (R6) 年度			2025 (R7) 年度		
	12月	1月	2~3月	12月	1月	2~3月	12月	1月	2~3月	12月	1月	2~3月
郡山市	選定審議会 【計4回】 (R4.2.14 ~ R4.12.14)	12/20 市への答申 (会長・市助)	12/23 市定結果の公表 (市長記者発表)	1月中旬 基本協定 締結	2月上旬 事業契約 仮契約締結	市議会3月定例会 (契約議案・指定 管理議案上程)	設計・整備工事の進行管理	4月~ 供用開始				
事業者		優先交渉権 者の決定										

基本協定締結に向けた協議
事業契約内容の協議
設計・施工に係る協議

0413005



【整備概要】外構等

- ・ペDESTリアンデッキ設置
- ・デジタルサイネージ設置
- ・園路の整備・拡幅
- ・駐車場ゲート設置

宝来屋 郡山総合体育館・ペDESTリアンデッキ



【整備概要】郡山総合体育館

- ・観客席増設（アリーナ化）
- ・体育館床の更新
- ・照明のLED化
- ・4面大型ビジョン新設
- ・更衣室更新

※イメージパースは事業者の提案によるもの

県立中央病院と青森市氏病院のあり方検討協議会からの提言内容について

2. 「共同経営の上、総合病院を新築整備する」に当たっての留意事項について

整備場所の選定にあたっては、以下の点について考慮した上で、県と市で検討すること。

- ① 医療の高度化や療養環境の充実など、整備に必要な面積が確保できること
- ② 津波や洪水などによる大規模災害発生時においても、診療に重大な支障を来たさないこと
- ③ 工期短縮及び費用節減の観点から、既存建物がなく、確保が容易な土地であること
- ④ 圏域内外からの救急患者の搬送や患者の通院アクセスに適していること

TEL 0413005

(3) 整備場所の 考え方

(4) 救急医療体 制

地域における二次、三次救急の中核的な医療機関として、専門スタッフの増員を図るとともに、地域の関係機関等と救急受入体制の連携・機能分担などについて十分検討しながら、救急医療提供体制を強化すること。

(5) 新興感染症 対策

新型コロナウイルス感染症における対応や、新興感染症対策に係る今後の方針等を踏まえつつ、新興感染症対策の中核的な病院として、感染拡大時を想定し、転用スペース等を含めた感染症対応病床の増強、対応設備等の整備及び専門スタッフ等のマンパワーの確保など、機能・体制を充実・強化すること。

(6) 転院患者の 受入先確保

新病院が急性期機能を発揮するため、適切に転院調整ができるよう地域医療連携推進法人の設立なども視野に入れ、転院患者の受入先確保も含めたポストアキュートや回復期機能を有する医療機関等との連携体制の構築に向けて検討すること。

(7) 地域医療支 援

新病院は県立、市立病院としての役割・責務を引き継ぎ、青森地域保健医療圏はもとより、県内全域の地域医療を積極的に支援していくこと。

県立中央病院と青森市民病院のあり方検討協議会からの提言内容について

1 両病院のあり方について

- 県立中央病院と青森市民病院は、地域内において急性期医療や政策医療の基幹的役割を担っているが、両病院において医師をはじめとした医療従事者を十分に確保していくことが難しいほか、施設の老朽化・狭隘化、経営基盤の強化、新興感染症対策への対応など多くの課題を抱えている。
- また、両病院が立地する青森地域保健医療圏では、高度急性期、急性期病床数が2025年度の必要病床数を上回っており、その適正化が求められている。
- 協議会では、こうした状況を踏まえ、人口減少、高齢化の進展など地域医療を取り巻く課題等を見据え、将来的に持続可能な医療提供体制を構築していくためには、両病院の共同・連携が必要であり、その方向性は、①医師等の医療従事者不足・人材確保、②急性期機能の集約・充実、③施設の老朽化等、④病院経営、⑤地域医療支援、⑥新興感染症対策の6つの観点を踏まえ、「共同経営の上、統合病院を新築整備する」ことが最も望ましいと考える。
- 協議会からの提言の実現に向けて、県と市で今後のあり方について早期に協議を進めることを期待する。

2 共同経営の上、統合病院を新築整備するに当たっての留意事項について

(1) 経営形態

経営形態については、自律的・弾力的かつ着実な運営が期待される企業団方式又は地方独立行政法人(非公務員型)方式のいずれかを基本に県と市で検討すること。

(2) 病床規模

新病院の一般病床については、両病院の患者数や適切な病床利用率等を基に算出することが適当であり、現時点では、800～900床程度と見込まれる。
これに加え、感染症病床や精神・身体合併症患者対応病床等の一般病床以外の病床の確保や、新興感染症の感染拡大時や災害発生時など一時的に患者が多く発生する場合に備えた病床機能転換ができるスペースの確保について、別途、県と市で検討すること。

県立中央病院と青森市民病院のあり方に関する基本方針について

- 県立中央病院と青森市民病院のあり方検討協議会から、青森県と青森市が「共同経営の上、統合病院を新築整備することが最も望ましい」との提言をいただいたことを踏まえ、青森県と青森市で協議を重ね、人口減少や医療従事者不足、さらには新興感染症対策など地域医療を取り巻く課題や多様な医療ニーズなどに対応し、持続可能な、強い医療提供体制を構築していくためには、両病院の機能・資源を集約・充実していくことが重要であると考え、県立中央病院と青森市民病院のあり方に関する基本方針として、「青森県と青森市の共同経営による統合病院を新築整備する」ことを、令和4年2月10日(木)に県知事と市長が共同会見を行い発表した。